

4 訪問系サービスの実態調査

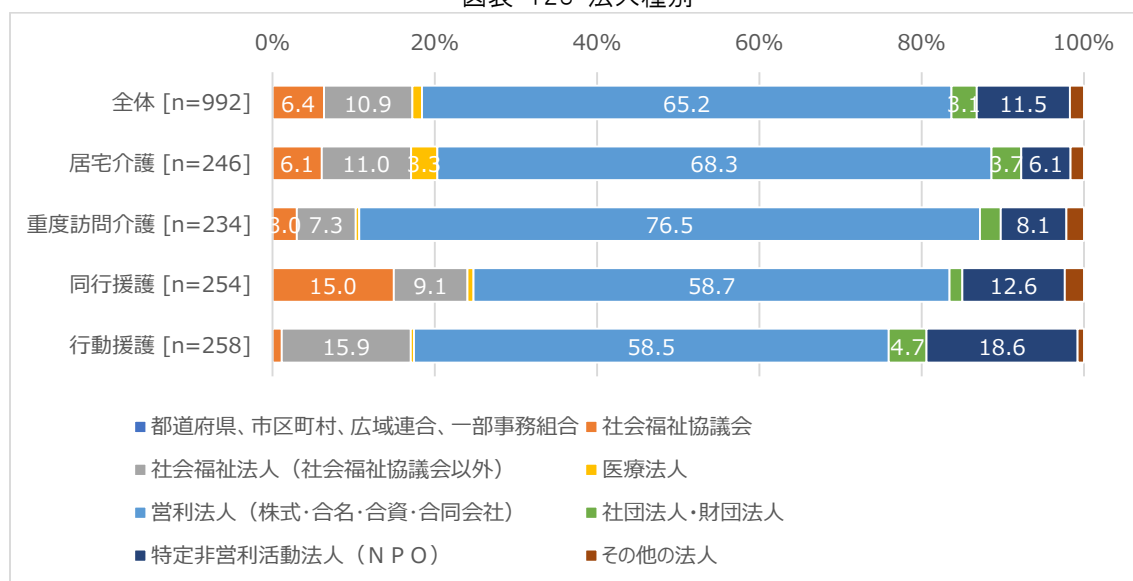
※以下の図表中の [n=] は、回答事業所数を表す。（ただし、サービス利用者の個別状況を聞く問の場合は、利用者数を表す。）

(1) 事業所の基本情報

①法人種別

法人種別は、「営利法人（株式・合名・合資・合同会社）」が 65.2%と多くなっている。

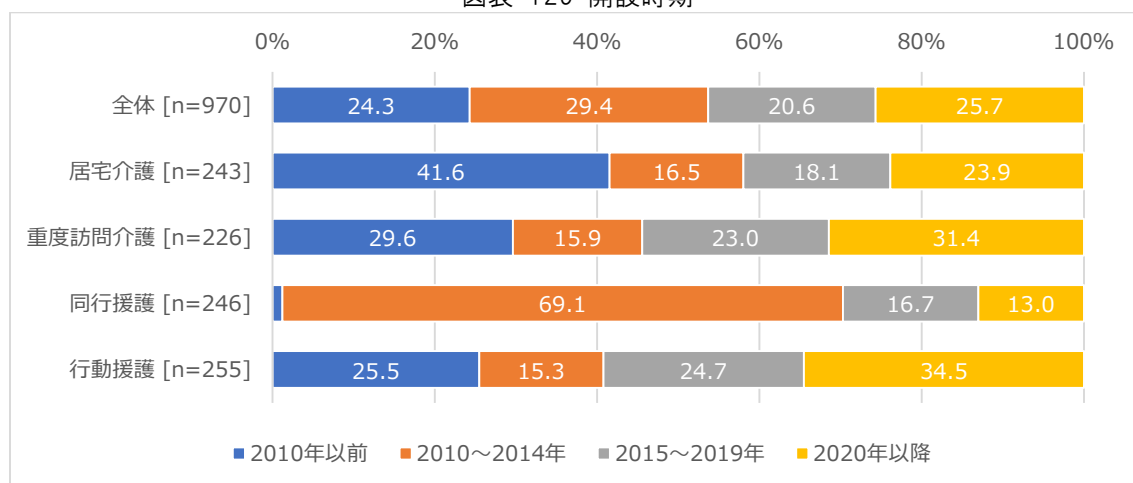
図表 128 法人種別



②開設時期

開設時期は、「2010～2014 年」が 29.4%、「2020 年以降」が 25.7%、「2010 年以前」が 24.3%、「2015～2019 年」が 20.6%となっている。

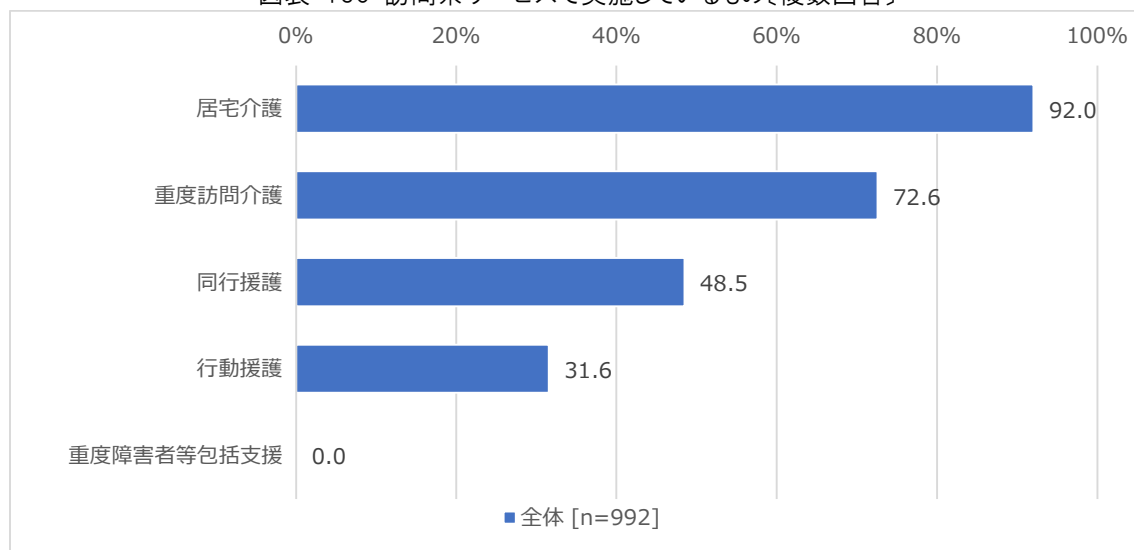
図表 129 開設時期



③訪問系サービスで実施しているもの

調査対象事業所で、訪問系サービスで実施しているものを聞いたところ、「居宅介護」が92.0%、「重度訪問介護」が72.6%、「同行援護」が48.5%、「行動援護」が31.6%となっている。

図表 130 訪問系サービスで実施しているもの〔複数回答〕



④調査対象事業所の職員数

調査対象事業所の職員数は、1事業所あたりの平均で、常勤のサービス提供責任者が2.3人、ヘルパーが2.8人、事務員その他が0.4人、非常勤のサービス提供責任者が0.8人（常勤換算人数0.6人）、ヘルパーが10.1人（常勤換算人数2.7人）、事務員その他が0.3人（常勤換算人数0.1人）となっている。

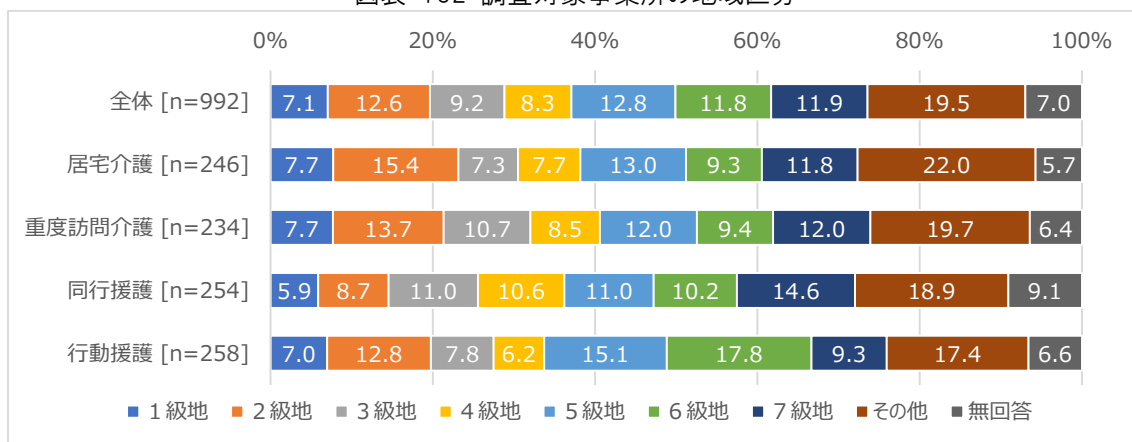
図表 131 調査対象事業所の職員数

(単位：人)			全体 [n=905]	居宅介護 [n=228]	重度訪問介護 [n=216]	同行援護 [n=225]	行動援護 [n=236]
常勤	実人数	サービス提供責任者	2.3	2.4	2.3	2.8	1.9
		ヘルパー	2.8	2.8	3.0	2.5	3.0
		事務員その他	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3
非常勤	実人数	サービス提供責任者	0.8	0.9	0.9	0.7	0.5
		ヘルパー	10.1	9.5	9.2	13.2	8.6
		事務員その他	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3
	常勤換算人数	サービス提供責任者	0.6	0.8	0.7	0.6	0.4
		ヘルパー	2.7	2.9	2.8	2.8	2.3
		事務員その他	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1

⑤調査対象事業所の立地環境

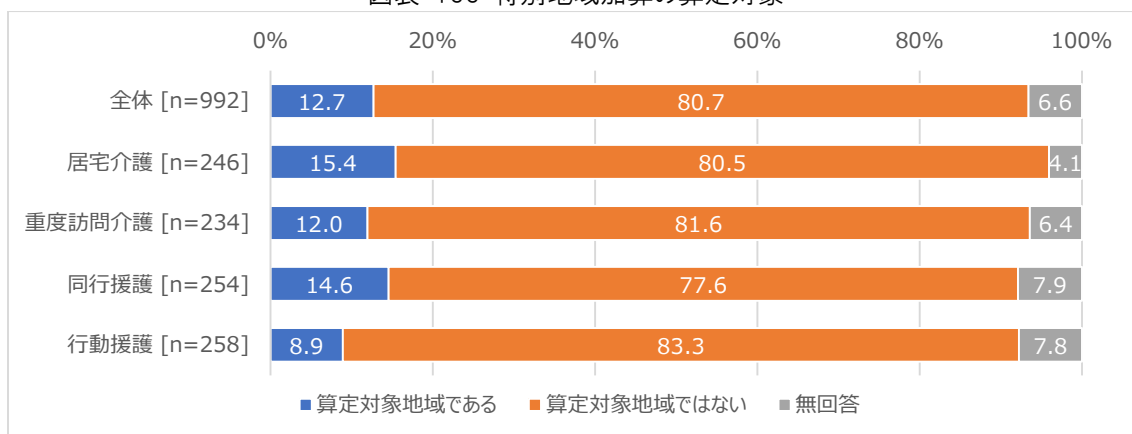
調査対象事業所の立地環境について聞いたところ、報酬算定の地域区分は、「その他」が19.5%、「5級地」が12.8%、「2級地」が12.6%、「7級地」が11.9%、「6級地」が11.8%等となっている。

図表 132 調査対象事業所の地域区分



特別地域加算の算定対象かどうかを聞いたところ、「算定対象地域ではない」が80.7%、「算定対象地域である」が12.7%となっている。

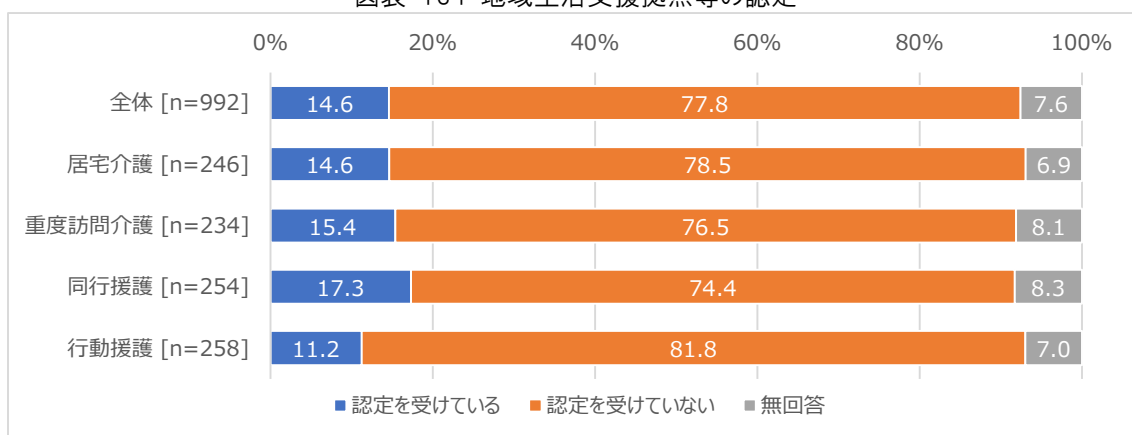
図表 133 特別地域加算の算定対象



⑥地域生活支援拠点等の認定

地域生活支援拠点等の認定は、「認定を受けていない」が77.8%、「認定を受けている」が14.6%となっている。

図表 134 地域生活支援拠点等の認定



(2) 各サービスの利用状況

①居宅介護の利用者数

居宅介護の利用者数は、1事業所あたりの平均で、実利用者数の合計が12.60人となっている。障害支援区分別の人数は、区分1が0.32人、区分2が2.80人、区分3が2.96人、区分4が1.74人、区分5が1.37人、区分6が2.73人、区分なしが0.21人、また、障害児が0.47人となっている。サービス種別では、身体介護の利用者が6.54人、家事援助の利用者が5.22人、通院等介助の利用者が1.76人、通院等乗降介助の利用者が0.04人となっている。

図表 135 居宅介護の利用者数

(単位：人)			居宅介護 [n=227]				
			障害種別計	身体	知的	精神	難病等
実利用者数	合計		12.60	6.33	2.11	3.93	0.24
	障害者	区分1	0.32	0.14	0.06	0.12	0.00
		区分2	2.80	0.76	0.38	1.61	0.05
		区分3	2.96	1.13	0.47	1.33	0.03
		区分4	1.74	0.86	0.34	0.50	0.03
		区分5	1.37	0.88	0.31	0.16	0.02
		区分6	2.73	2.17	0.41	0.10	0.05
		区分なし	0.21	0.11	0.06	0.04	0.01
		小計	12.13	6.04	2.04	3.86	0.19
	障害児		0.47	0.28	0.07	0.07	0.05
身体介護	合計		6.54	4.01	0.89	1.49	0.14
	障害者	区分1	0.10	0.05	0.02	0.03	0.00
		区分2	0.98	0.27	0.12	0.57	0.01
		区分3	1.15	0.38	0.17	0.59	0.00
		区分4	0.78	0.47	0.11	0.19	0.01
		区分5	0.85	0.62	0.15	0.07	0.02
		区分6	2.26	1.91	0.27	0.04	0.05
		区分なし	0.10	0.07	0.02	0.00	0.00
		小計	6.22	3.77	0.87	1.48	0.10
	障害児		0.32	0.25	0.03	0.00	0.04
家事援助	合計		5.22	2.20	0.70	2.23	0.10
	障害者	区分1	0.20	0.10	0.02	0.08	0.00
		区分2	1.73	0.43	0.24	1.03	0.04
		区分3	1.72	0.67	0.23	0.80	0.02
		区分4	0.78	0.42	0.11	0.23	0.02
		区分5	0.43	0.31	0.05	0.06	0.00
		区分6	0.32	0.26	0.04	0.01	0.01
		区分なし	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
		小計	5.20	2.19	0.69	2.23	0.09
	障害児		0.02	0.00	0.01	0.00	0.00
通院等介助	合計		1.76	0.89	0.49	0.37	0.01
	障害者	区分1	0.03	0.01	0.00	0.01	0.00
		区分2	0.20	0.08	0.03	0.09	0.00
		区分3	0.46	0.22	0.11	0.12	0.00
		区分4	0.40	0.21	0.09	0.10	0.00
		区分5	0.29	0.16	0.10	0.03	0.00
		区分6	0.32	0.19	0.12	0.00	0.00
		区分なし	0.05	0.02	0.03	0.01	0.00
		小計	1.75	0.88	0.49	0.36	0.01
	障害児		0.01	0.01	0.00	0.00	0.00
通院等乗降介助	合計		0.04	0.02	0.00	0.01	0.00
	障害者	区分1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		区分2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		区分3	0.02	0.00	0.00	0.01	0.00
		区分4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		区分5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		区分6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		区分なし	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		小計	0.04	0.02	0.00	0.01	0.00
	障害児		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

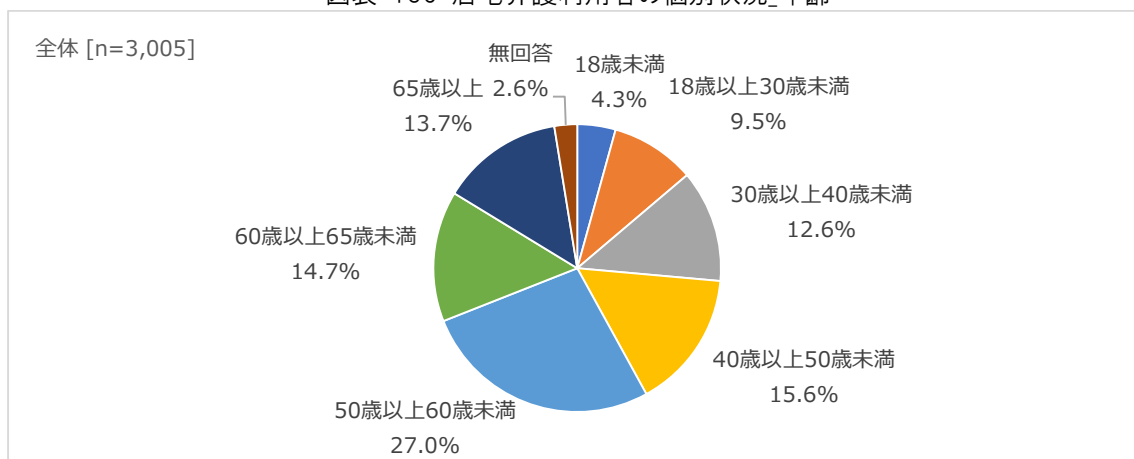
②居宅介護利用者の個別状況

居宅介護利用者の個別状況を聞いたところ、2,875 人分の回答があった。

利用者の年齢は、「50 歳以上 60 歳未満」が 27.0%、「40 歳以上 50 歳未満」が 15.6%等となっている。

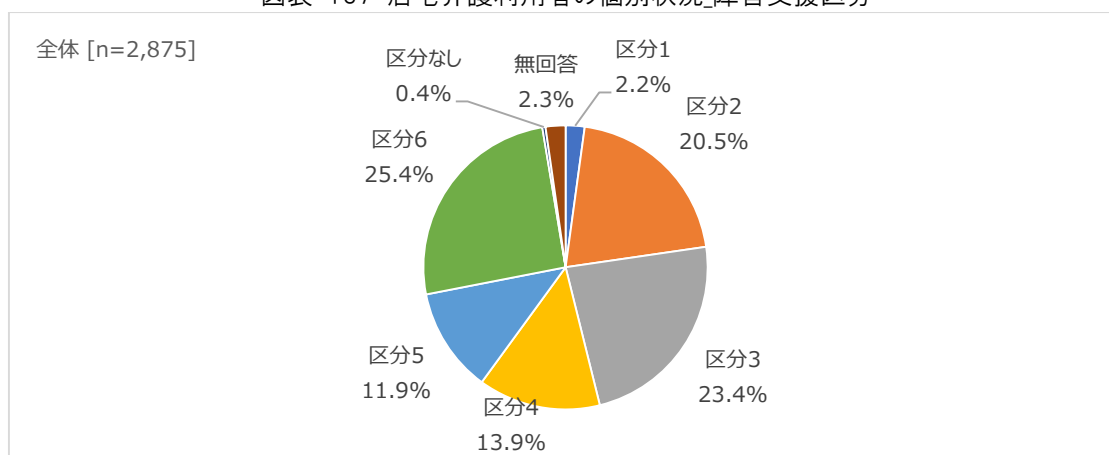
なお、利用者の平均年齢は 49.3 歳となっている。

図表 136 居宅介護利用者の個別状況_年齢



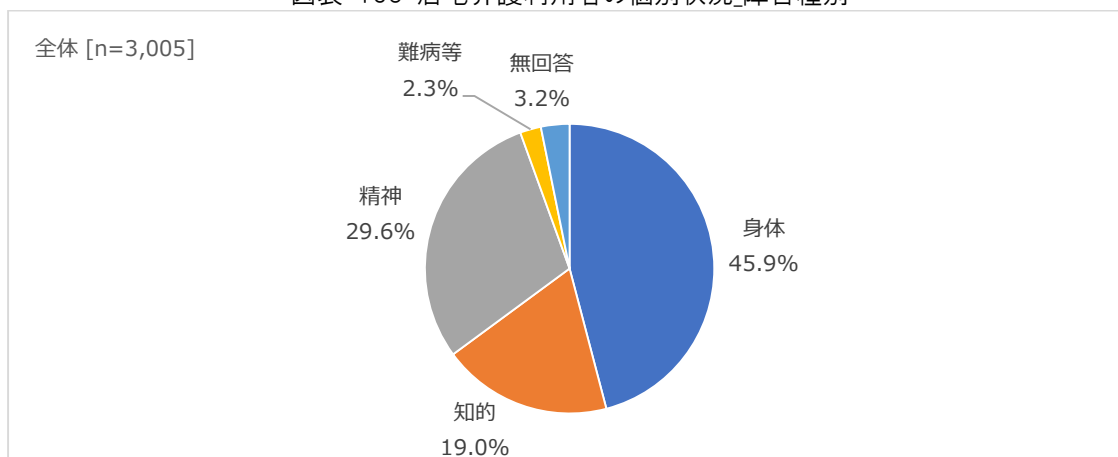
障害支援区分は、「区分 6」が 25.4%、「区分 3」が 23.4%、「区分 2」が 20.5%等となっている。

図表 137 居宅介護利用者の個別状況_障害支援区分



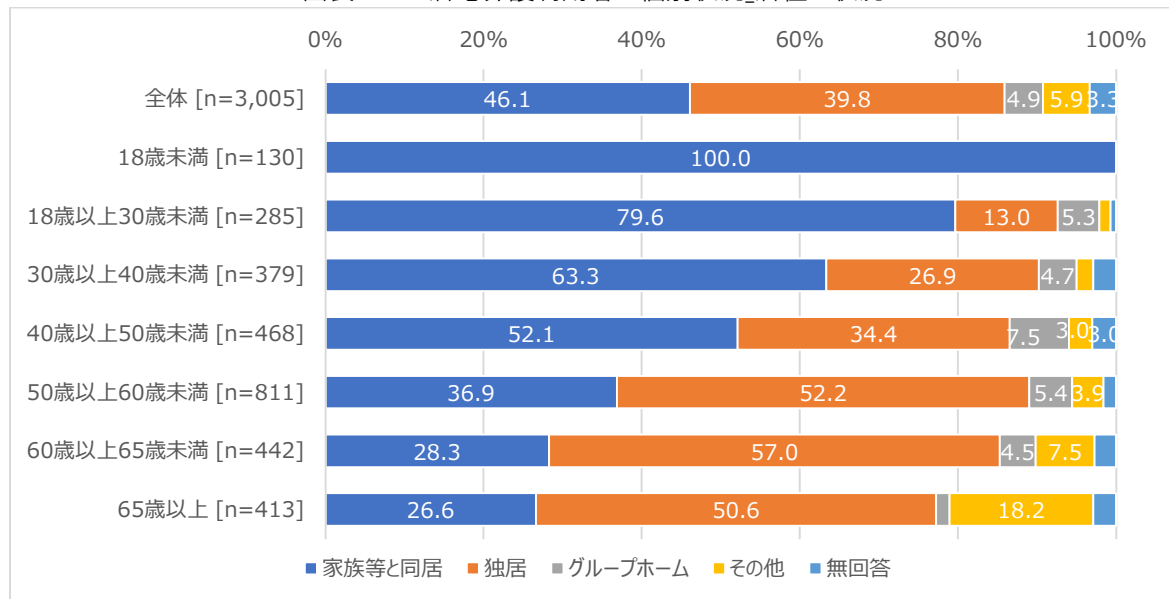
障害種別は、「身体」が 45.9%、「精神」が 29.6%、「知的」が 19.0%となっている。

図表 138 居宅介護利用者の個別状況_障害種別



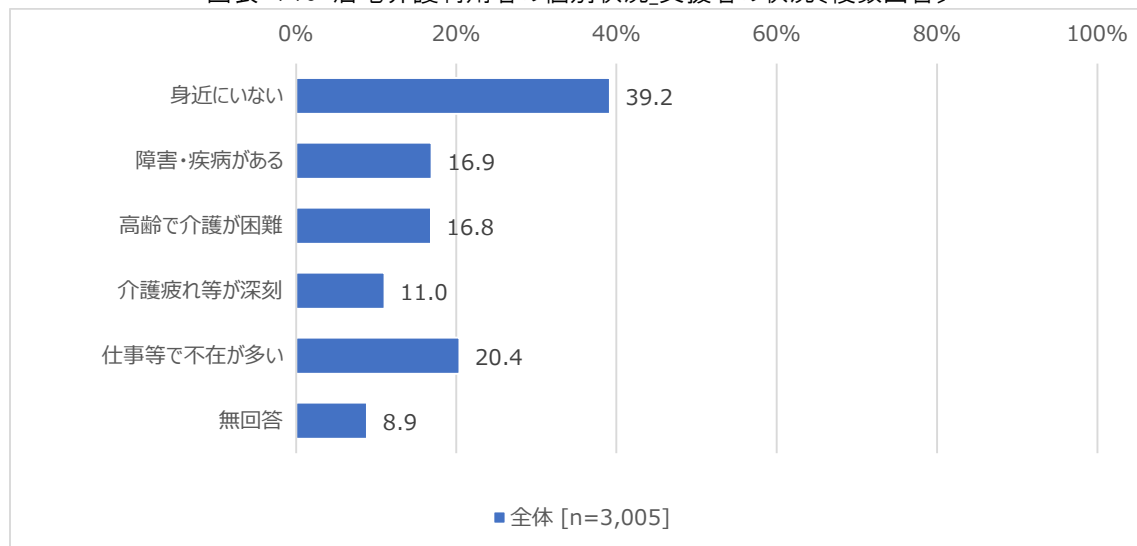
居住の状況は、「家族等と同居」が 46.1%、「独居」が 39.8%となっている。年齢別で見ると、年齢層が上がるにつれ、「独居」の増加する傾向が見られる。

図表 139 居宅介護利用者の個別状況_居住の状況



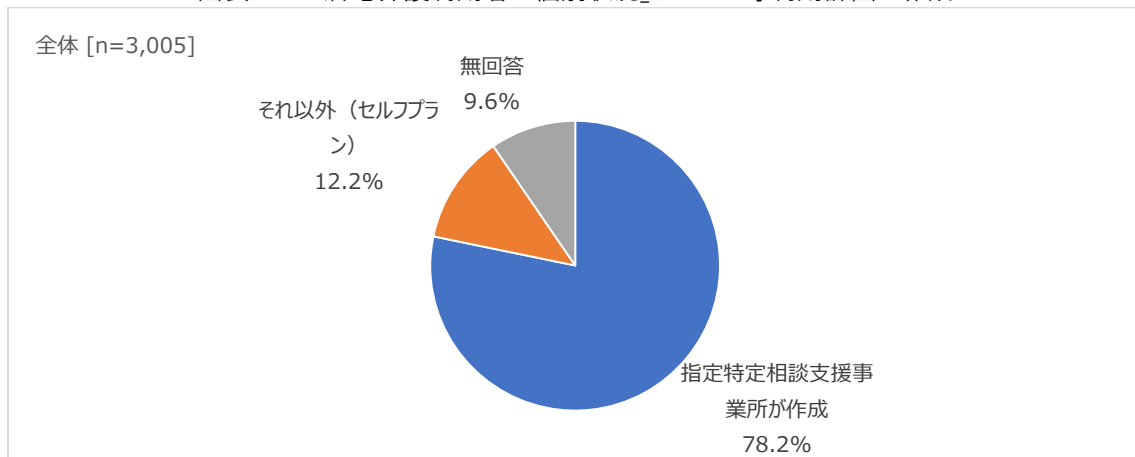
支援者の状況について聞いたところ、「身近にいない」が 39.2%と多くっており、また、「仕事等で不在が多い」が 20.4%、「障害・疾病がある」が 16.9%、「高齢で介護が困難」が 16.8%、「介護疲れ等が深刻」が 11.0%となっている。

図表 140 居宅介護利用者の個別状況_支援者の状況〔複数回答〕



サービス等利用計画の作成は、「指定特定相談支援事業所が作成」が 78.2%、「それ以外（セルフプラン）」が 12.2%となっている。

図表 141 居宅介護利用者の個別状況_サービス等利用計画の作成



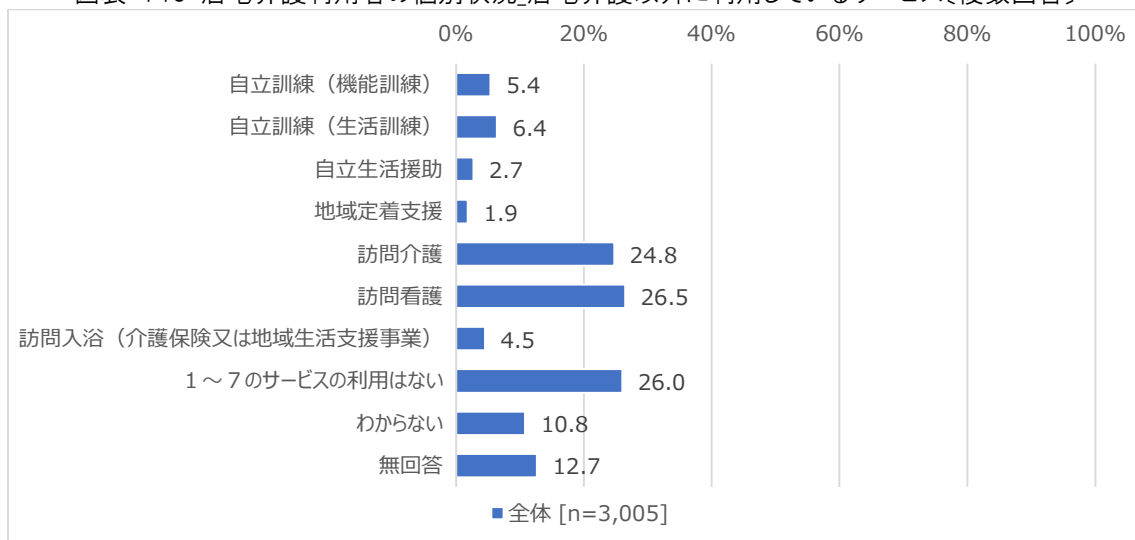
居宅介護利用者のサービス利用状況を聞いたところ、月平均で、身体介護の利用日数が 7.2 日、1 日の平均利用時間が 1.1 時間、家事援助の利用日数が 4.3 日、1 日の平均利用時間が 0.8 時間、通院等介助の利用日数が 0.4 日、1 日の平均利用時間が 0.4 時間となっている。

図表 142 居宅介護利用者の個別状況_サービス利用状況

(単位：日、時間)		全体 [n=2,719]
身体介護	利用日数	7.2
	1 日の平均利用時間	1.1
家事援助	利用日数	4.3
	1 日の平均利用時間	0.8
通院等介助	利用日数	0.4
	1 日の平均利用時間	0.4
通院等乗降介助	利用日数	0.0
	1 日の平均利用時間	0.0

居宅介護以外に利用しているサービスとしては、「訪問看護」が 26.5%、「訪問介護」が 24.8%等となっている。他のサービス利用のない人は 26.0%となっている。

図表 143 居宅介護利用者の個別状況_居宅介護以外に利用しているサービス〔複数回答〕

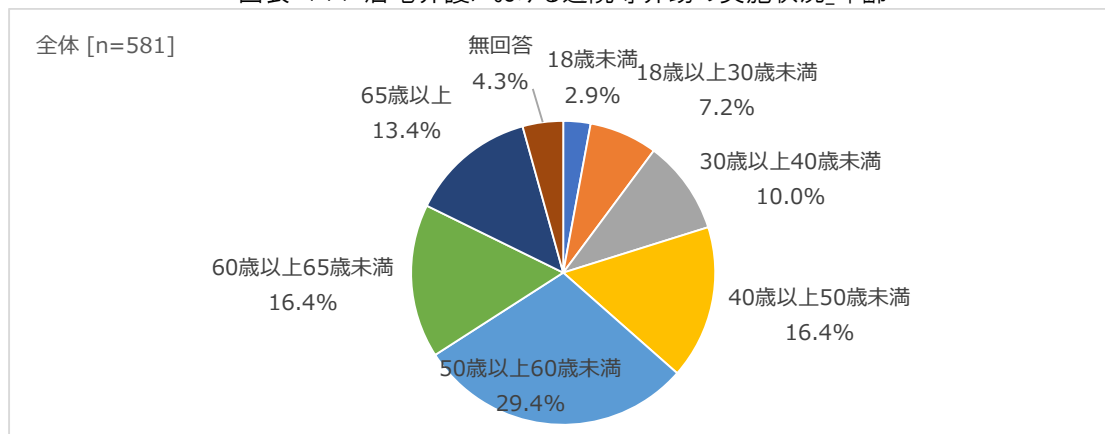


③居宅介護における通院等介助の実施状況

居宅介護利用者のうち、通院等介助の利用者がいる場合に、通院等介助の個別の実施状況について聞いたところ、581 人分の回答があった。

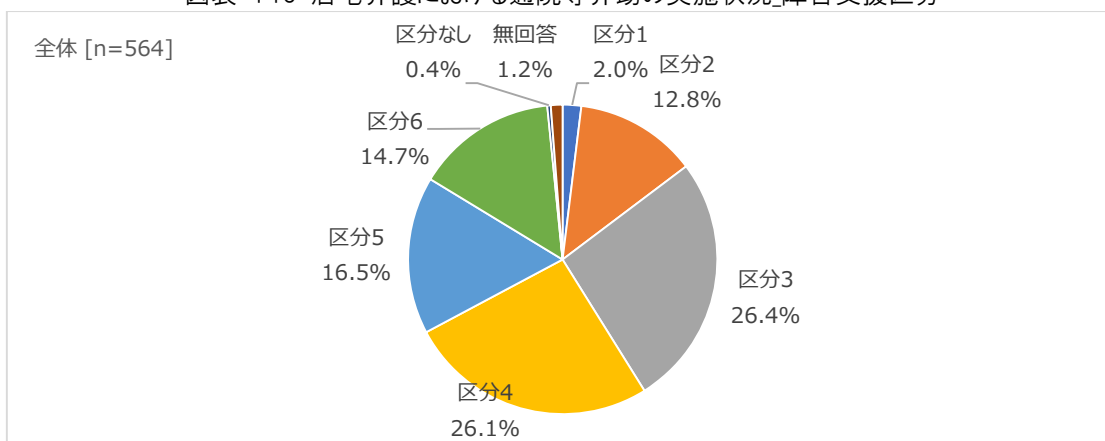
利用者の年齢は、「50 歳以上 60 歳未満」が 29.4%等となっている。なお、平均年齢は 51.1 歳となっている。

図表 144 居宅介護における通院等介助の実施状況_年齢



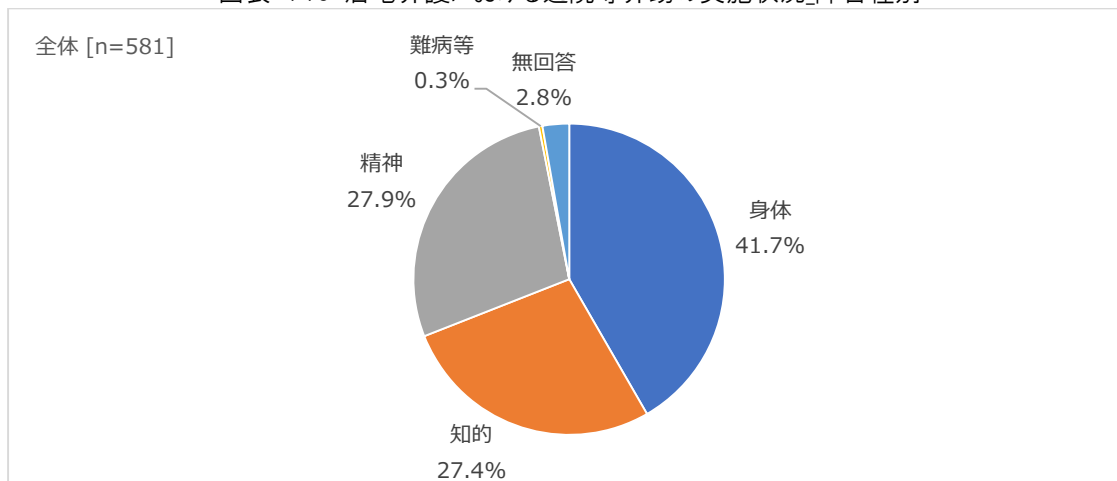
障害支援区分は、「区分 3」が 26.4%、「区分 4」が 26.1%等となっている。

図表 145 居宅介護における通院等介助の実施状況_障害支援区分



障害種別は、「身体」が 41.7%、「精神」が 27.9%、「知的」が 27.4%となっている。

図表 146 居宅介護における通院等介助の実施状況_障害種別



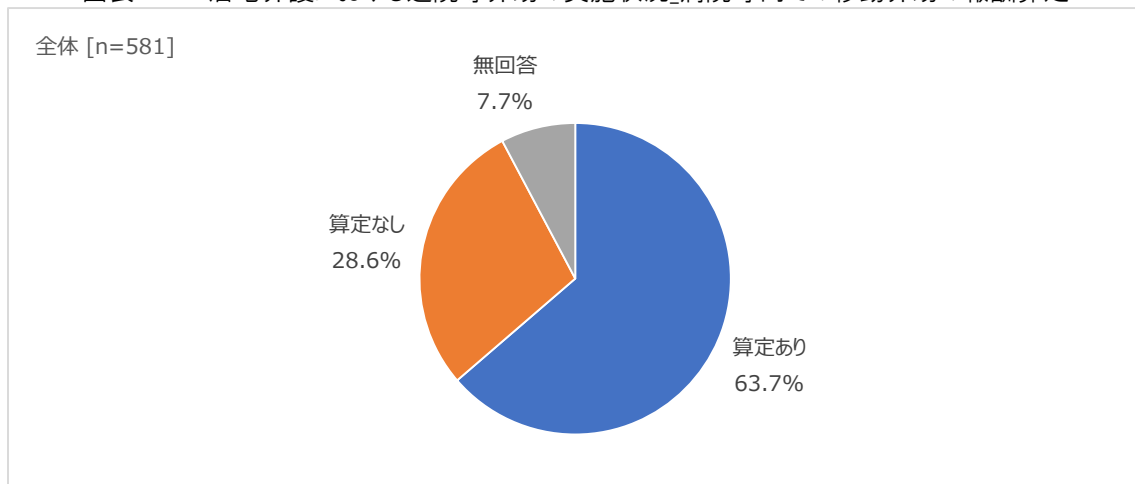
移動介助の1回あたり平均時間を聞いたところ、平均で病院までの移動介助が 43.5 分、病院内での移動介助が 49.2 分となっている。

図表 147 居宅介護における通院等介助の実施状況_移動介助の1回あたり平均時間

(単位：分)	全体 [n=424]
病院までの移動介助	43.5
病院内での移動介助	49.2

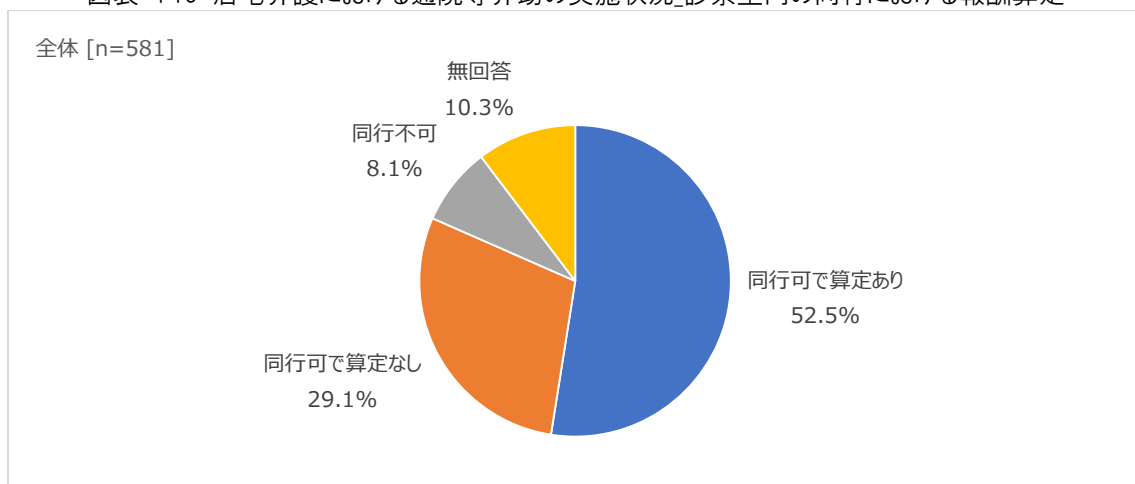
病院等内での移動介助の報酬算定については、「算定あり」が 63.7%、「算定なし」が 28.6%となっている。

図表 148 居宅介護における通院等介助の実施状況_病院等内での移動介助の報酬算定



診察室内の同行における報酬算定については、「同行可で算定あり」が 52.5%、「同行可で算定なし」が 29.1%、「同行不可」が 8.1%となっている。

図表 149 居宅介護における通院等介助の実施状況_診察室内の同行における報酬算定



④重度訪問介護の利用者数

重度訪問介護の利用者数は、1事業所あたりの平均で合計 3.53 人、うち、区分 6 の第Ⅰ類が 2.65 人、区分 6 の第Ⅱ類が 0.53 人等となっている。

図表 150 重度訪問介護の利用者数

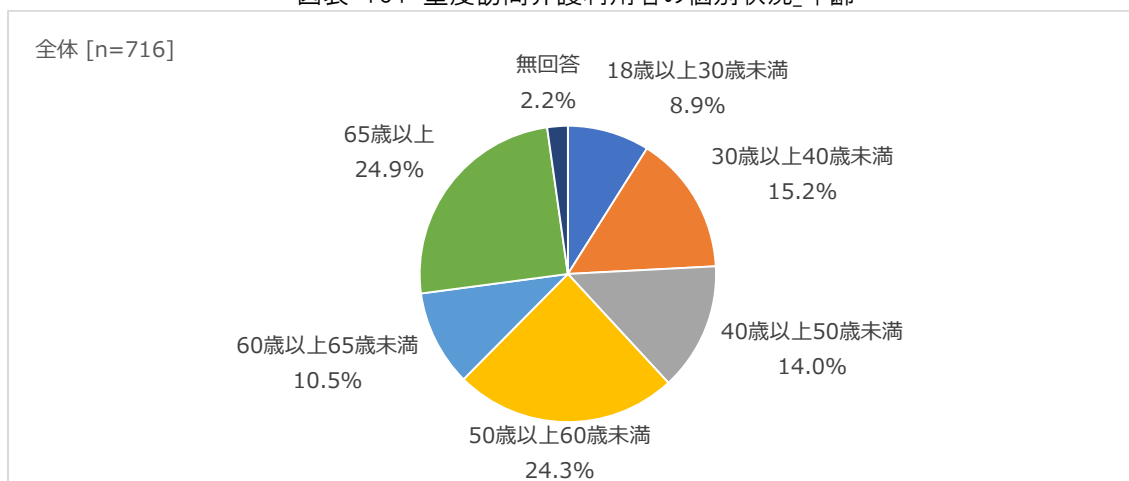
(単位：人)		重度訪問介護 [n=190]				
		障害種別計	身体	知的	精神	難病等
合計		3.53	2.74	0.17	0.05	0.56
区分 4	第Ⅰ類	0.04	0.02	0.01	0.01	0.00
	第Ⅱ類	0.04	0.01	0.02	0.01	0.00
区分 5	第Ⅰ類	0.21	0.17	0.02	0.00	0.01
	第Ⅱ類	0.07	0.05	0.02	0.01	0.00
区分 6	第Ⅰ類	2.65	2.08	0.04	0.02	0.51
	第Ⅱ類	0.53	0.40	0.07	0.02	0.04

⑤重度訪問介護利用者の個別状況

重度訪問介護利用者の個別状況について聞いたところ、716 人分の回答があった。

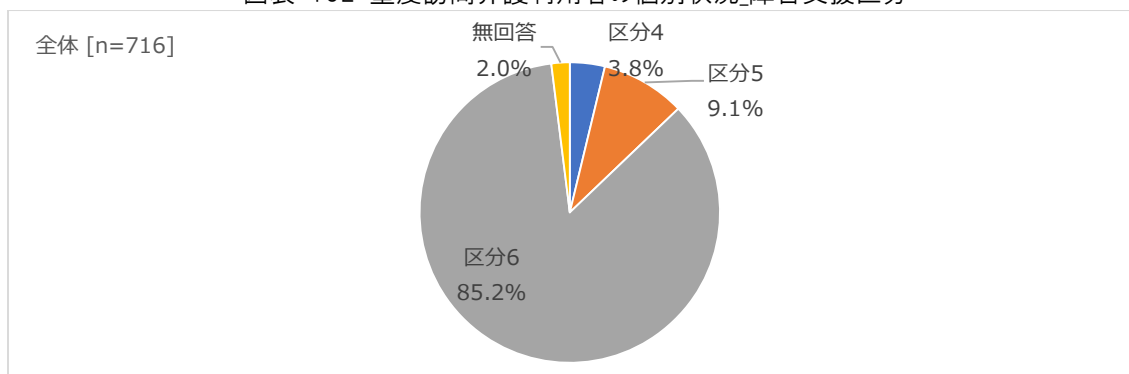
利用者の年齢は、「65 歳以上」が 24.9%、「50 歳以上 60 歳未満」が 24.3%等となっている。なお、利用者の平均年齢は 52.7 歳となっている。

図表 151 重度訪問介護利用者の個別状況_年齢



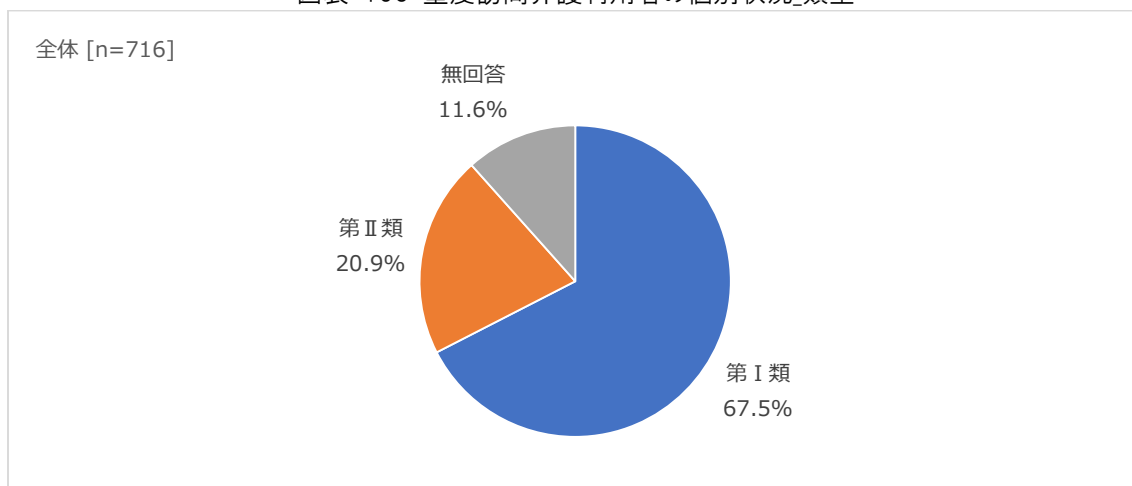
障害支援区分は、「区分 6」が 85.2%となっている。

図表 152 重度訪問介護利用者の個別状況_障害支援区分



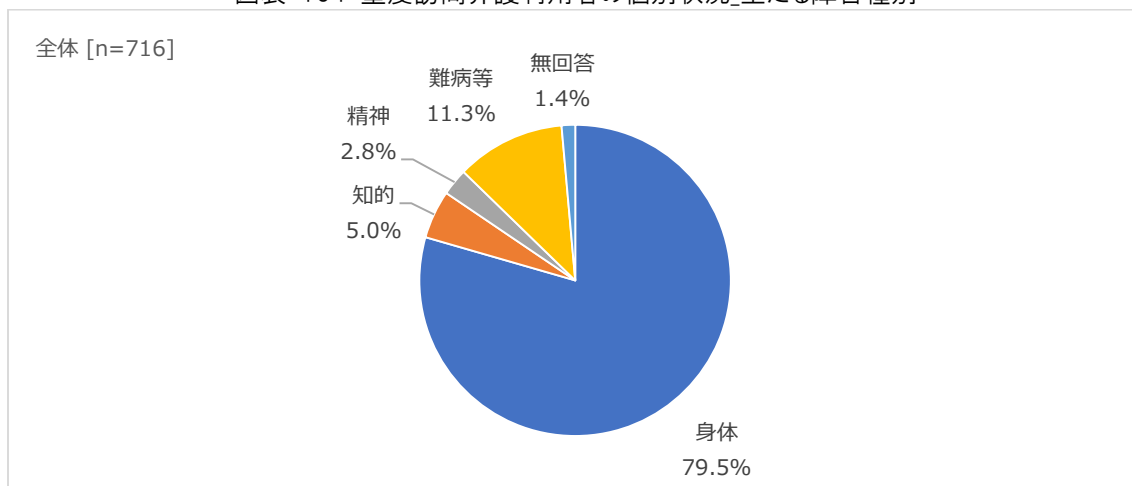
利用者の類型は、「第Ⅰ類」が67.5%、「第Ⅱ類」が20.9%となっている。

図表 153 重度訪問介護利用者の個別状況_類型



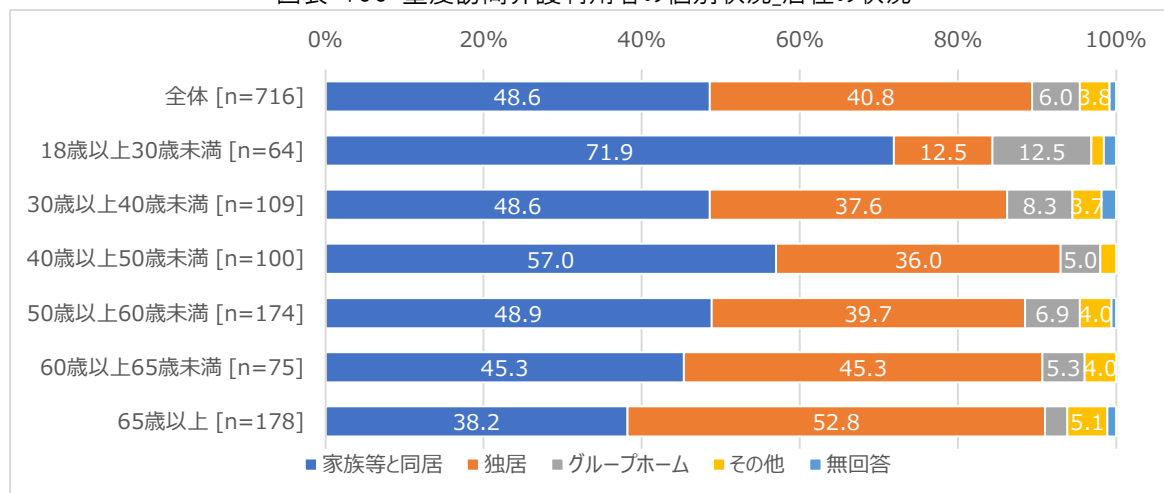
主たる障害種別は、「身体」が79.5%となっている。

図表 154 重度訪問介護利用者の個別状況_主たる障害種別



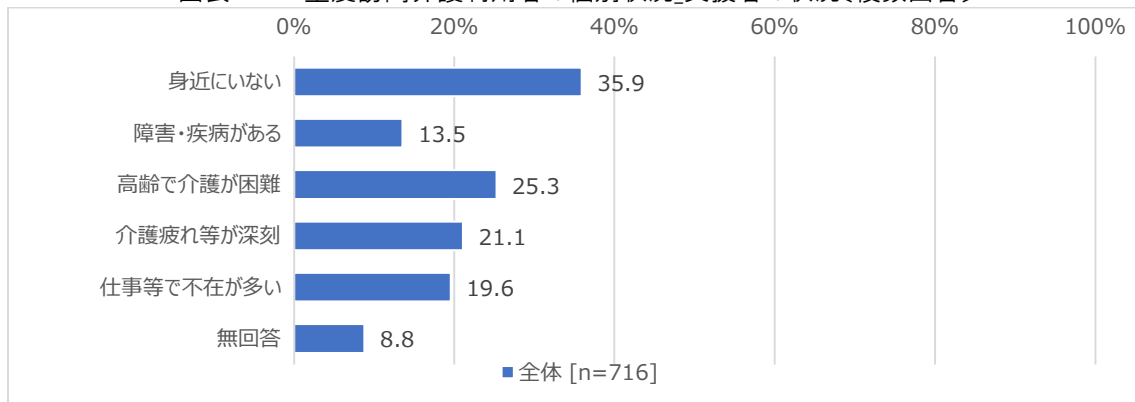
利用者の居住の状況は、「家族等と同居」が48.6%、「独居」が40.8%となっている。年齢別で見ると、年齢層が上がるにつれ、「独居」の増加する傾向が見られる。

図表 155 重度訪問介護利用者の個別状況_居住の状況



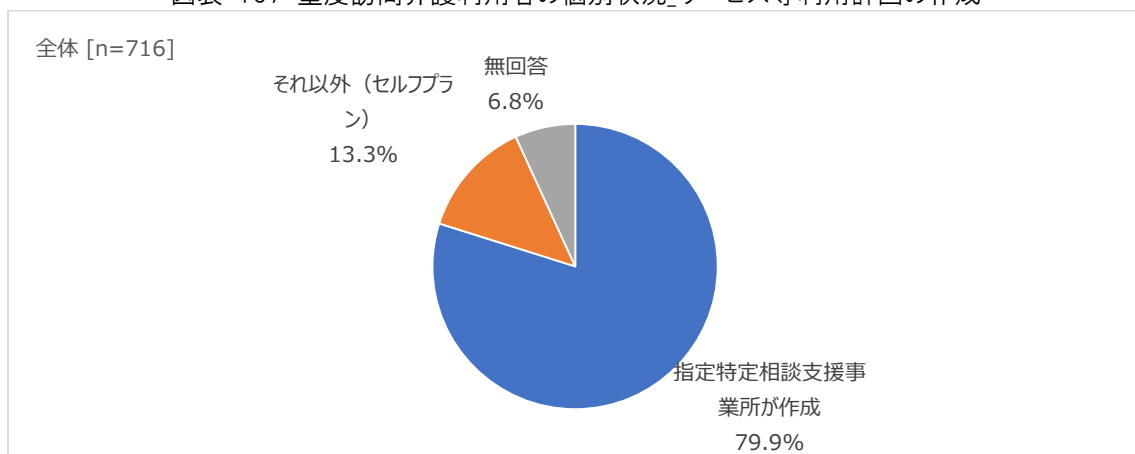
支援者の状況について聞いたところ、「身近にいない」が35.9%、「高齢で介護が困難」が25.3%、「介護疲れ等が深刻」が21.1%、「仕事等で不在が多い」が19.6%、「障害・疾病がある」が13.5%となっている。

図表 156 重度訪問介護利用者の個別状況_支援者の状況〔複数回答〕



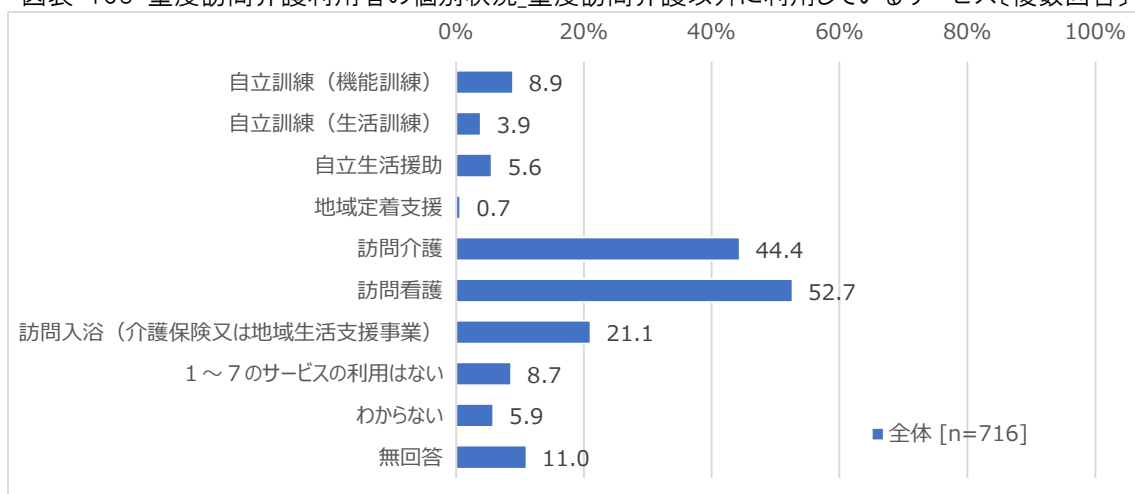
サービス等利用計画の作成は、「指定特定相談支援事業所が作成」が79.9%、「それ以外（セルフプラン）」が13.3%となっている。

図表 157 重度訪問介護利用者の個別状況_サービス等利用計画の作成



重度訪問介護以外に利用しているサービスについて聞いたところ、「訪問看護」が52.7%、「訪問介護」が44.4%、「訪問入浴（介護保険又は地域生活支援事業）」が21.1%となっている。

図表 158 重度訪問介護利用者の個別状況_重度訪問介護以外に利用しているサービス〔複数回答〕



重度訪問介護の利用日数は、月平均で 14.8 日となっている。また、1 日あたりの平均利用時間は、平均で 6.1 時間となっている。

図表 159 重度訪問介護利用者の個別状況_利用日数・1日あたりの平均利用時間

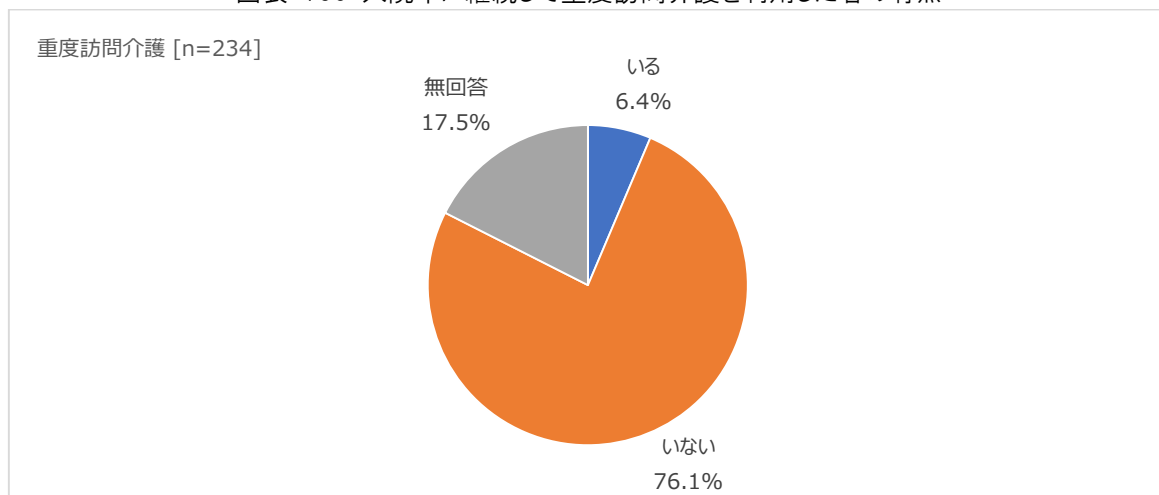
(単位：日、時間)	全体 [n=671]
利用日数	14.8
1日あたりの平均利用時間	6.1

⑥入院中に継続して重度訪問介護を利用した者の状況

入院中に継続して重度訪問介護を利用した者の状況について、令和 6 年 4 月～9 月の半年間で、入院中に継続して重度訪問介護を利用した者がいるかどうかを聞いたところ、「いない」が 76.1%、「いる」が 6.4% となっている。なお、本問は入院した利用者のいない事業所も含めた全事業所に聞いたものである。また、「無回答」が比較的多くなっているが、該当者の有無を確認できない場合等も含まれると推察される。

入院中に継続して重度訪問介護を利用した者がいる事業所における、該当者の平均人数は 1.1 人となっている。

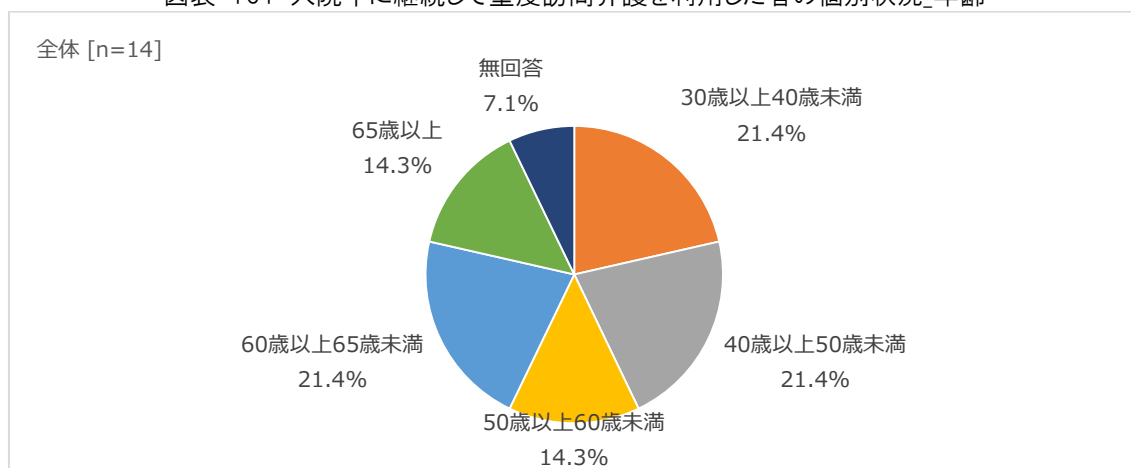
図表 160 入院中に継続して重度訪問介護を利用した者の有無



入院中に継続して重度訪問介護を利用した者がいる事業所に、該当者の個別状況を聞いたところ、14 人分の回答があった。

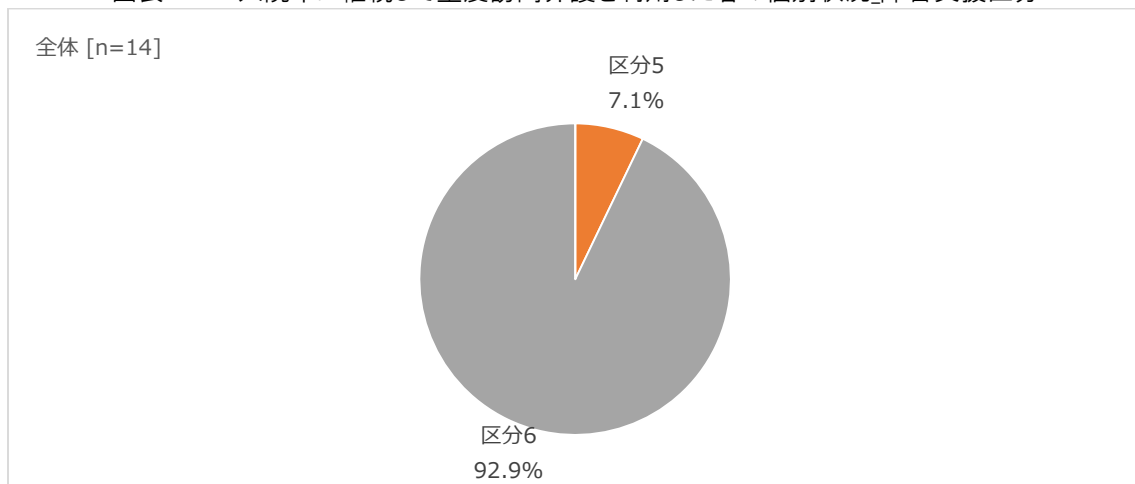
該当者の年齢は比較的分散している。なお、平均年齢は 52.4 歳となっている。

図表 161 入院中に継続して重度訪問介護を利用した者の個別状況_年齢



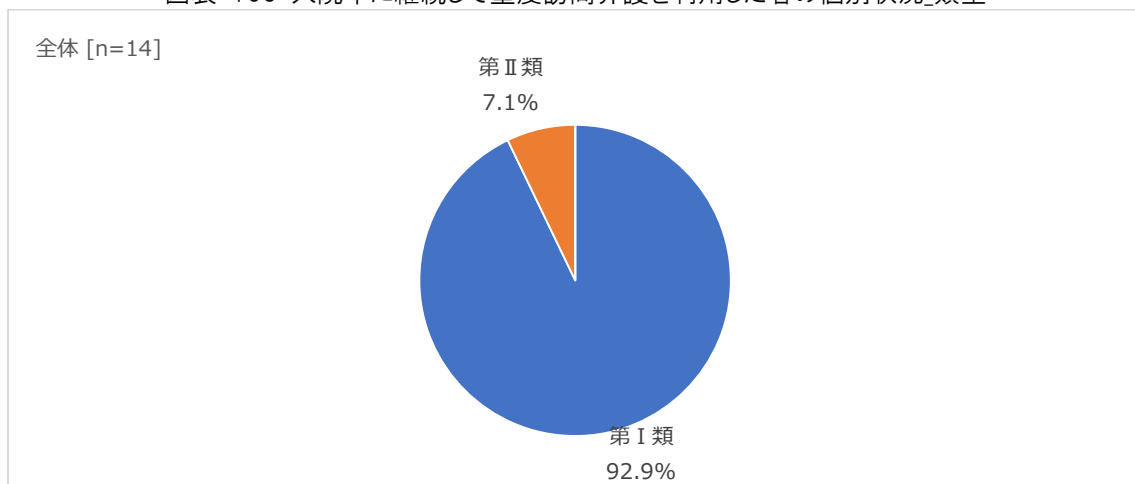
障害支援区分は、「区分 6」が 92.9%となっている。

図表 162 入院中に継続して重度訪問介護を利用した者の個別状況_障害支援区分



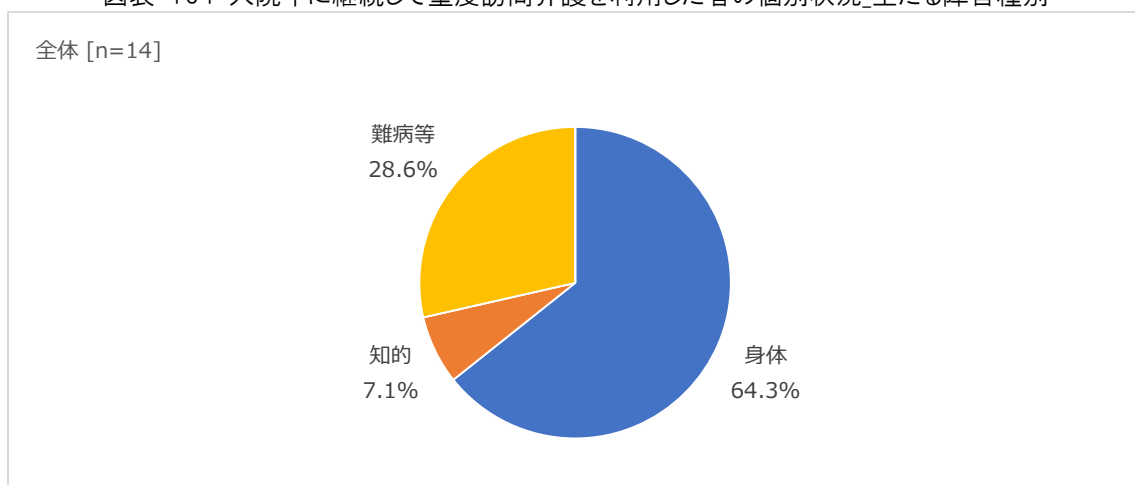
類型は、「第Ⅰ類」が 92.9%、「第Ⅱ類」が 7.1%となっている。

図表 163 入院中に継続して重度訪問介護を利用した者の個別状況_類型



主たる障害種別は、「身体」が 64.3%、「難病等」が 28.6%、「知的」が 7.1%となっている。

図表 164 入院中に継続して重度訪問介護を利用した者の個別状況_主たる障害種別



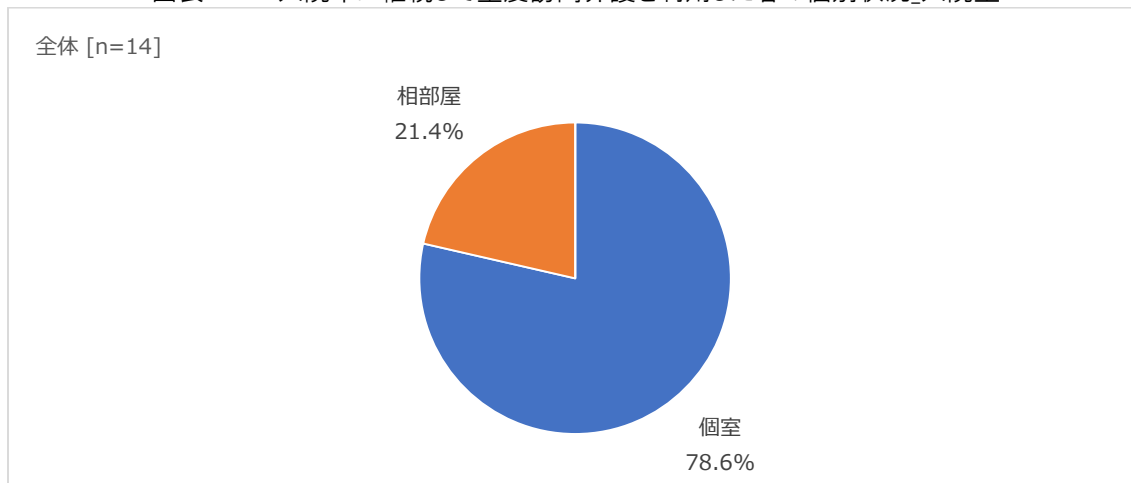
該当者の入院日数は、平均で 13.4 日となっている。

図表 165 入院中に継続して重度訪問介護を利用した者の個別状況_入院日数

(単位：日)	全体 [n=14]
平均入院日数	13.4

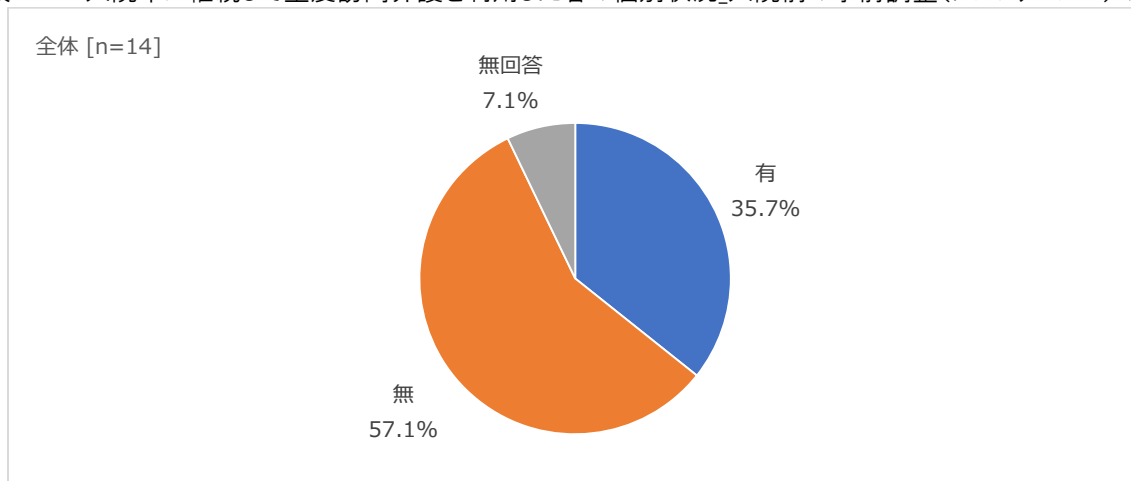
入院室の状況は、「個室」が 78.6%、「相部屋」が 21.4%となっている。

図表 166 入院中に継続して重度訪問介護を利用した者の個別状況_入院室



入院前の事前調整（カンファレンス）の有無を聞いたところ、「無」が 57.1%、「有」が 35.7%となっている。

図表 167 入院中に継続して重度訪問介護を利用した者の個別状況_入院前の事前調整(カンファレンス)の有無



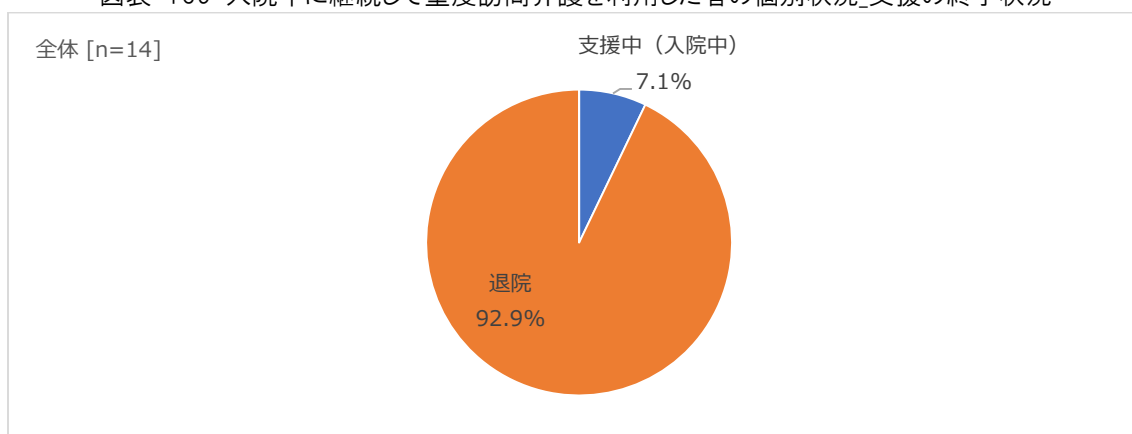
入院中の支援時間は、平均で昼間が 13.4 時間、夜間が 13.1 時間となっている。

図表 168 入院中に継続して重度訪問介護を利用した者の個別状況_入院中の支援時間

(単位：時間)	全体 [n=14]
昼間	13.4
夜間	13.1

支援の終了状況については、「退院」が 92.9%、「支援中（入院中）」が 7.1%となっている。

図表 169 入院中に継続して重度訪問介護を利用した者の個別状況_支援の終了状況



⑦同行援護の利用者数

同行援護の利用者数は、1 事業所あたりの平均で合計 4.88 人となっている。うち、障害支援区分なしの利用者が 1.70 人、障害支援区分 3 の利用者が 1.20 人等となっている。

図表 170 同行援護の利用者数

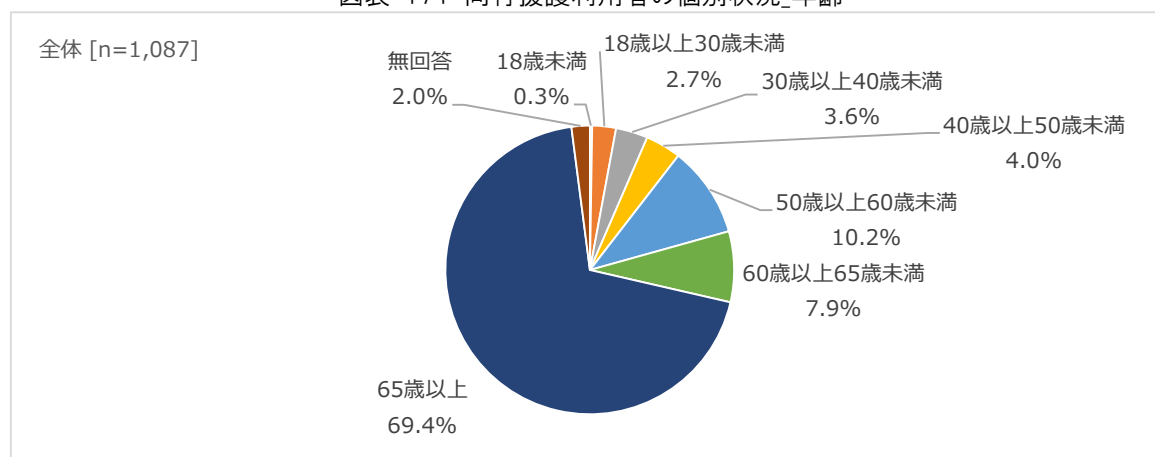
(単位：人)		同行援護 [n=224]				
		障害種別計	身体	知的	精神	難病等
合計		4.88	4.59	0.10	0.03	0.16
障害者	区分 1	0.17	0.17	0.00	0.00	0.00
	区分 2	0.43	0.39	0.02	0.00	0.02
	区分 3	1.20	1.11	0.01	0.02	0.07
	区分 4	0.99	0.92	0.02	0.00	0.05
	区分 5	0.21	0.19	0.02	0.00	0.01
	区分 6	0.15	0.12	0.03	0.00	0.00
	区分なし	1.70	1.68	0.00	0.00	0.01
	小計	4.87	4.58	0.10	0.03	0.16
障害児		0.01	0.01	0.00	0.00	0.00

⑧同行援護利用者の個別状況

同行援護利用者の個別状況について聞いたところ、1,084 人分の回答があった。

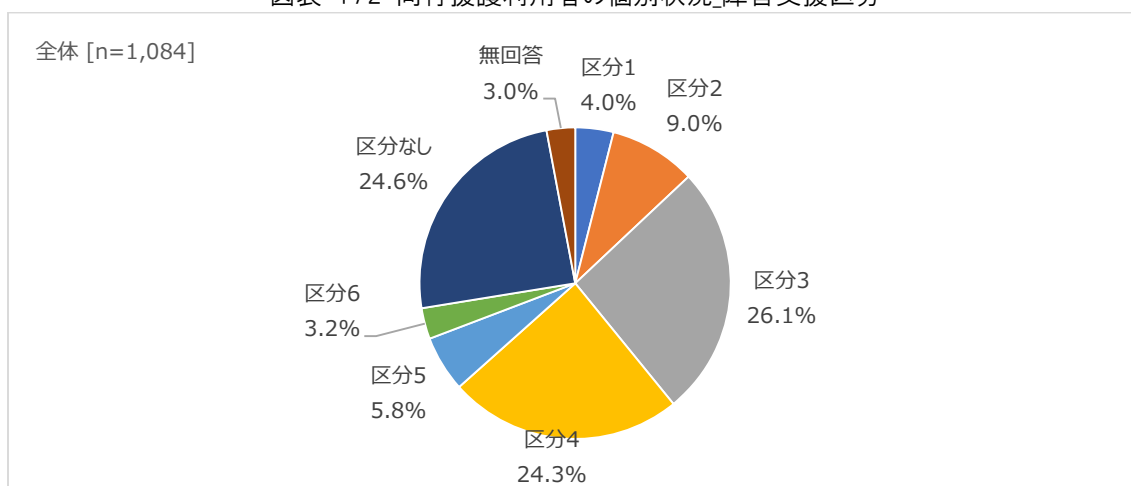
利用者の年齢は、「65 歳以上」が 69.4%と多くを占めている。なお、利用者の平均年齢は 69.3 歳となっている。

図表 171 同行援護利用者の個別状況_年齢



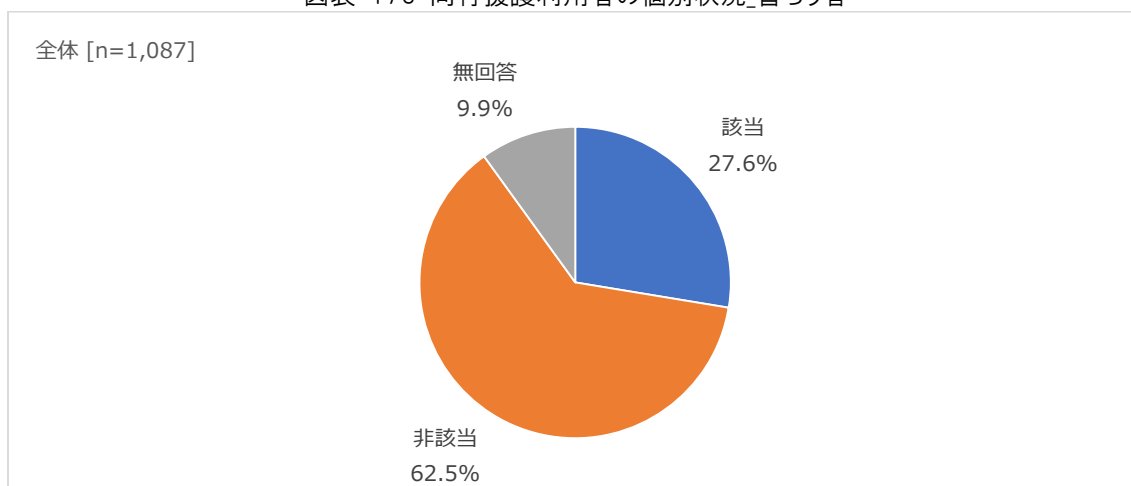
障害支援区分は、「区分 3」が 26.1%、「区分なし」が 24.6%、「区分 4」が 24.3%等となっている。

図表 172 同行援護利用者の個別状況_障害支援区分



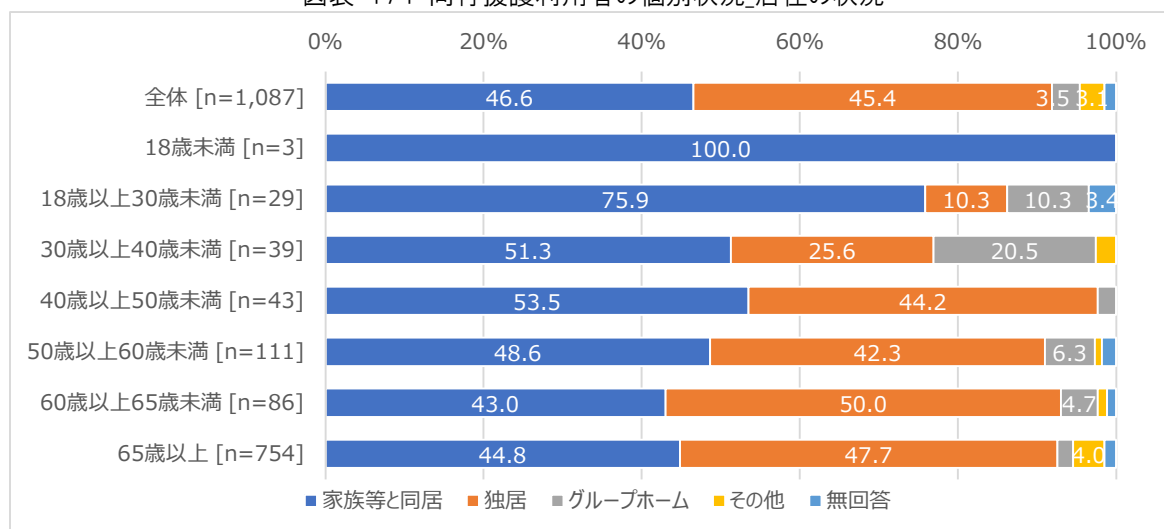
利用者における盲ろう者については、「非該当」が 62.5%、「該当」が 27.6%となっている。

図表 173 同行援護利用者の個別状況_盲ろう者



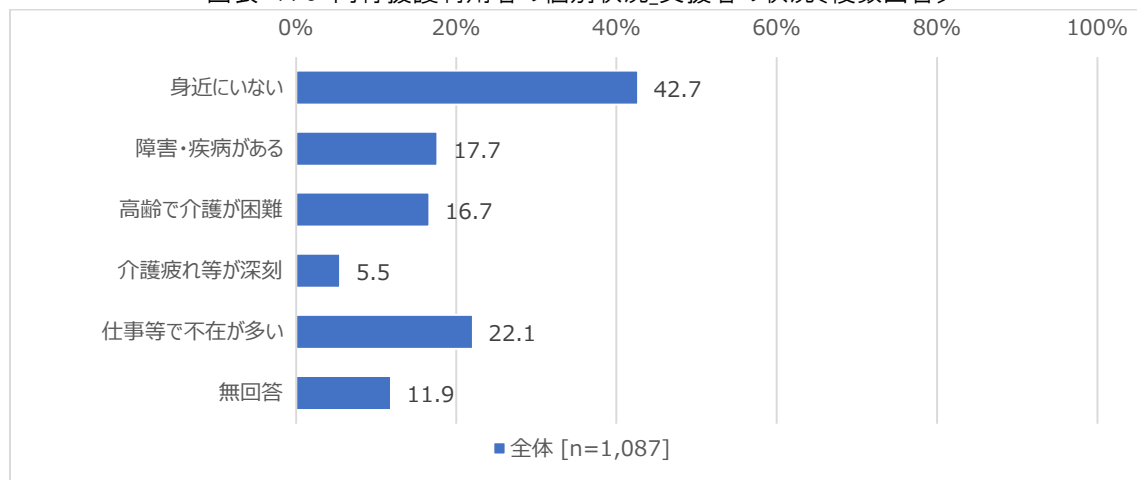
利用者の居住の状況は、「家族等と同居」が 46.6%、「独居」が 45.4%となっている。年齢別で見ると、60 歳以上で「独居」の方が多くなる傾向が見られる。

図表 174 同行援護利用者の個別状況_居住の状況



支援者の状況について聞いたところ、「身近にいない」が 42.7%、「仕事等で不在が多い」が 22.1%、「障害・疾病がある」が 17.7%、「高齢で介護が困難」が 16.7%となっている。

図表 175 同行援護利用者の個別状況_支援者の状況〔複数回答〕



同行援護の利用日数は、月平均で 5.7 日となっている。また、1 日あたりの平均利用時間は 2.6 時間となっている。

図表 176 同行援護利用者の個別状況_利用日数・1 日あたりの平均利用時間

(単位：日、時間)		全体 [n=973]
利用日数		5.7
1 日あたりの平均利用時間		2.6

⑨行動援護の利用者数

行動援護の利用者数は、1 事業所あたりの平均で合計 8.99 人、うち、障害支援区分 6 の利用者が 4.49 人、障害支援区分 5 の利用者が 2.61 人等となっている。

図表 177 行動援護の利用者数

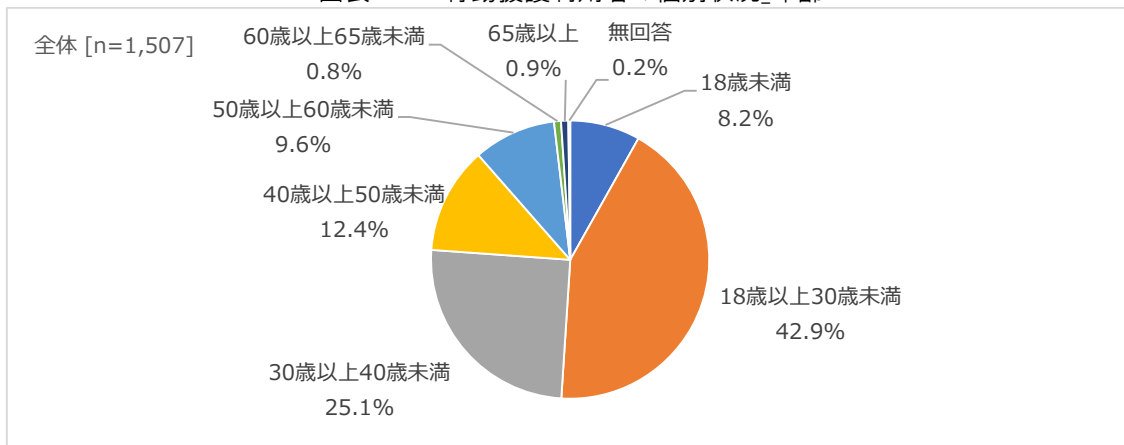
(単位：人)		行動援護 [n=241]				
		障害種別計	身体	知的	精神	難病等
合計		8.99	0.30	8.35	0.32	0.02
障害者	区分 3	0.09	0.00	0.09	0.00	0.00
	区分 4	0.72	0.02	0.67	0.03	0.00
	区分 5	2.61	0.07	2.50	0.04	0.00
	区分 6	4.49	0.17	4.06	0.24	0.01
	小計	7.90	0.26	7.32	0.32	0.01
障害児		1.09	0.04	1.02	0.01	0.01

⑩行動援護利用者の個別状況

行動援護利用者の個別状況について聞いたところ、1,384 人分の回答があった。

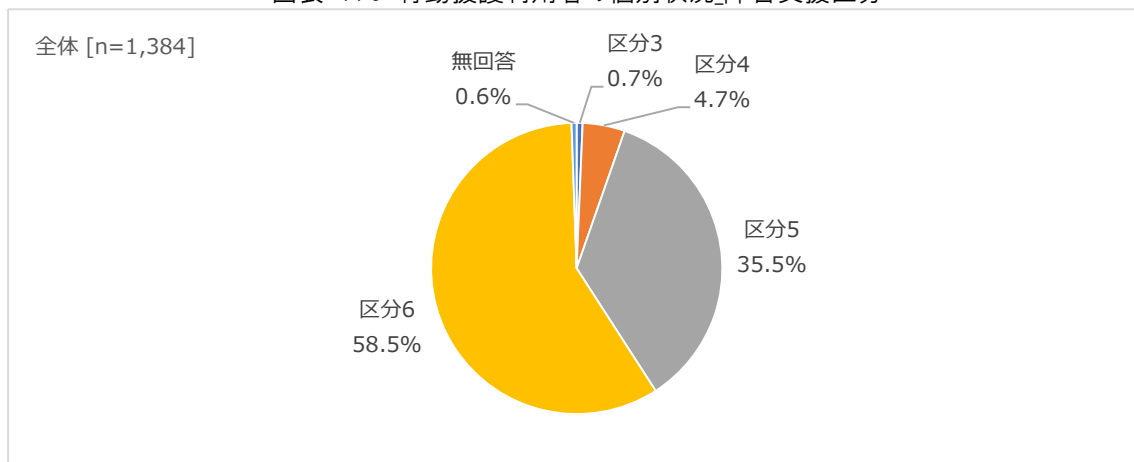
利用者の年齢は、「18 歳以上 30 歳未満」が 42.9%と多くなっている。なお、利用者の平均年齢は 31.6 歳となっている。

図表 178 行動援護利用者の個別状況_年齢



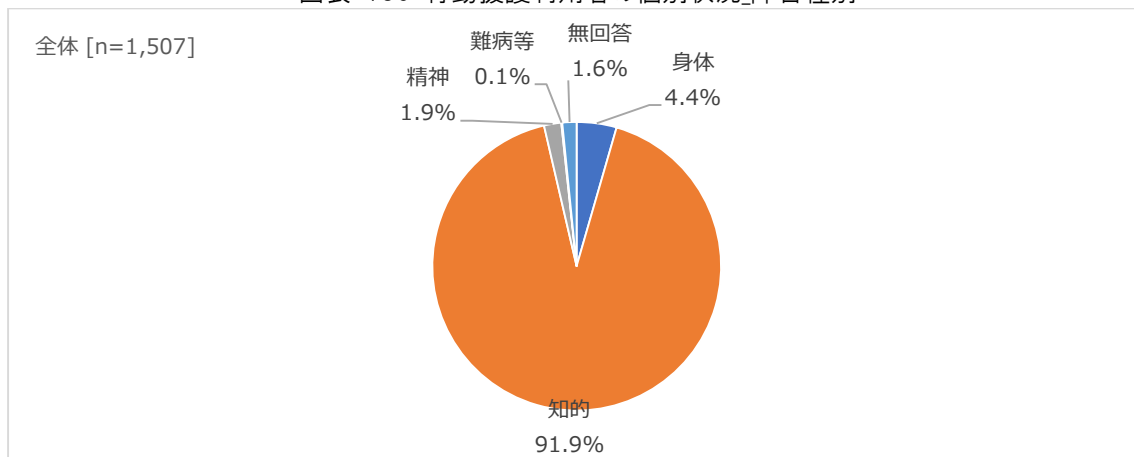
障害支援区分は、「区分 6」が 58.5%、「区分 5」が 35.5%となっている。

図表 179 行動援護利用者の個別状況_障害支援区分



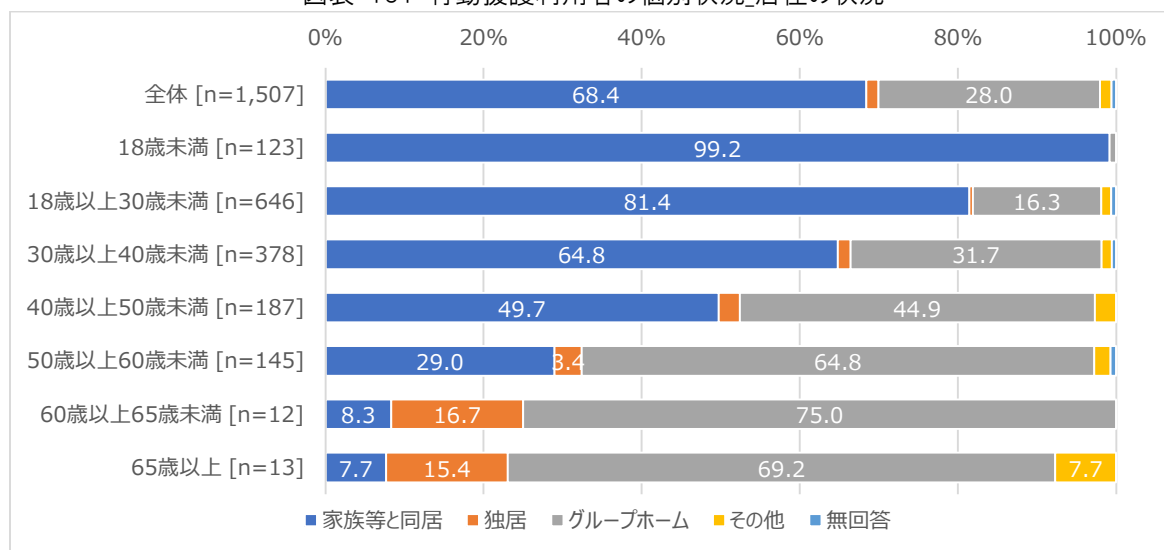
障害種別は、「知的」が 91.9%となっている。

図表 180 行動援護利用者の個別状況_障害種別



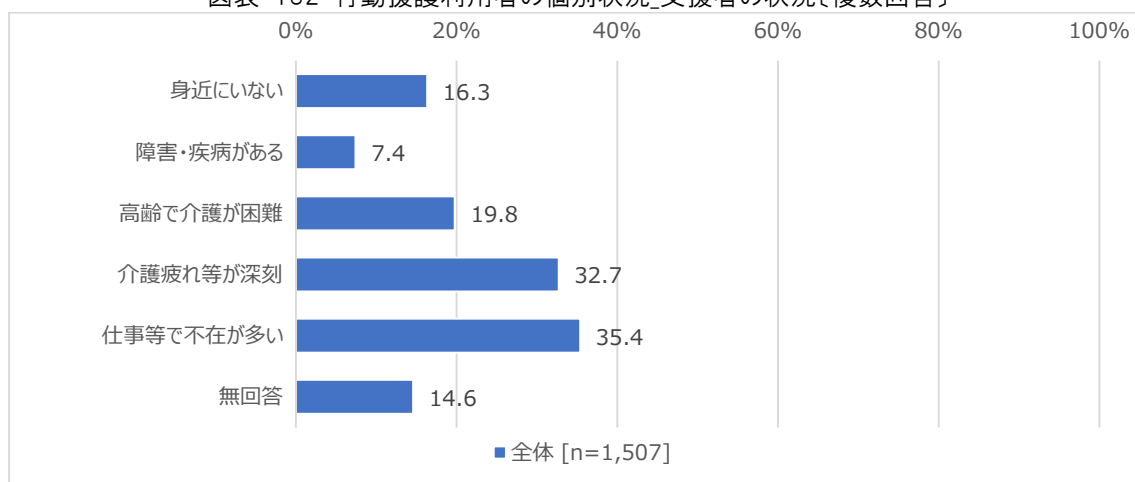
居住の状況は、「家族等と同居」が 68.4%、「グループホーム」が 28.0%となっている。年齢別で見ると、年齢層が上がるにつれ、「家族等との同居」が減少し、「グループホーム」の増加する傾向が見られる。

図表 181 行動援護利用者の個別状況_居住の状況



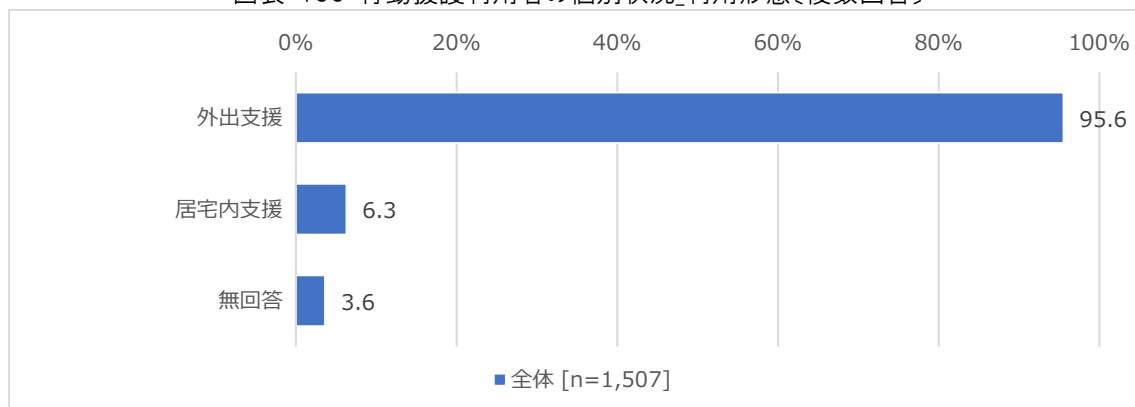
支援者の状況について聞いたところ、「仕事等で不在が多い」が 35.4%、「介護疲れ等が深刻」が 32.7%、「高齢で介護が困難」が 19.8%、「身近にいない」が 16.3%となっている。

図表 182 行動援護利用者の個別状況_支援者の状況〔複数回答〕



行動援護の利用形態は、「外出支援」が 95.6%、「居宅内支援」が 6.3%となっている。

図表 183 行動援護利用者の個別状況_利用形態〔複数回答〕



行動援護の利用日数は、月平均で平日が 3.2 日、土日祝日が 2.1 日となっている。また、1 日あたりの平均利用時間は、平日が 1.5 時間、土日祝日が 3.3 時間となっている。

図表 184 行動援護利用者の個別状況_利用日数

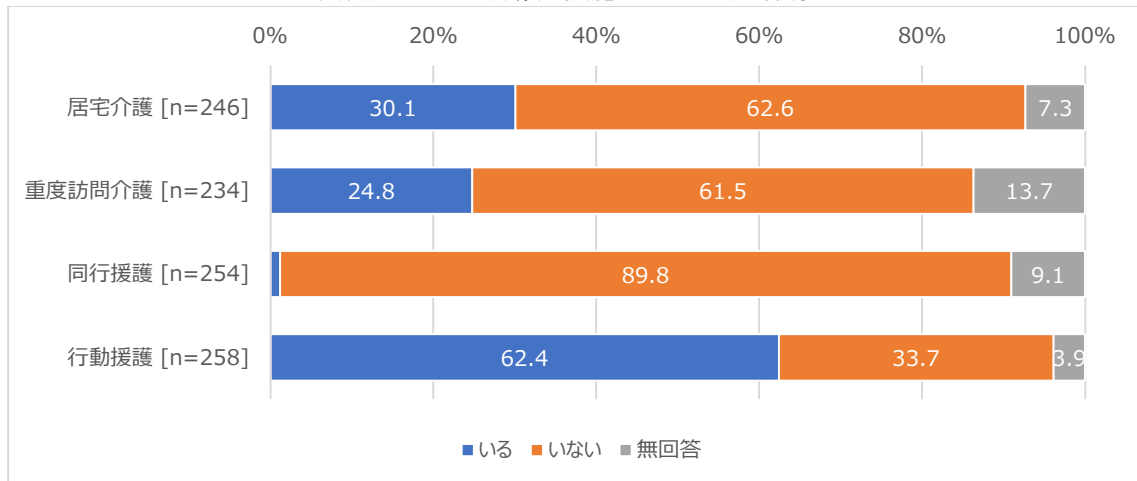
(単位：日、時間)		全体 [n=1,440]
利用日数	平日	3.2
	土日祝日	2.1
1 日あたりの平均利用時間	平日	1.5
	土日祝日	3.3

(3) 各種サービスの実施状況

① 2 人介護の実施状況

2 人介護の実施状況について、2 人介護を行っている利用者があるかどうかを聞いたところ、行動援護で「いる」が 62.4%と多くなっている。

図表 185 2人介護を実施している利用者有無



2人介護を実施している利用者がいる事業所に、支給決定理由別人数を聞いたところ、重度訪問介護の障害支援区分6で「障害者等の身体的理由により1人の従業者による介護が困難と認められる場合」が1.5人、行動援護の障害支援区分6で「暴力行為、著しい迷惑行為、器物破損行為等が認められる場合」1.0人等が比較的多くなっている。

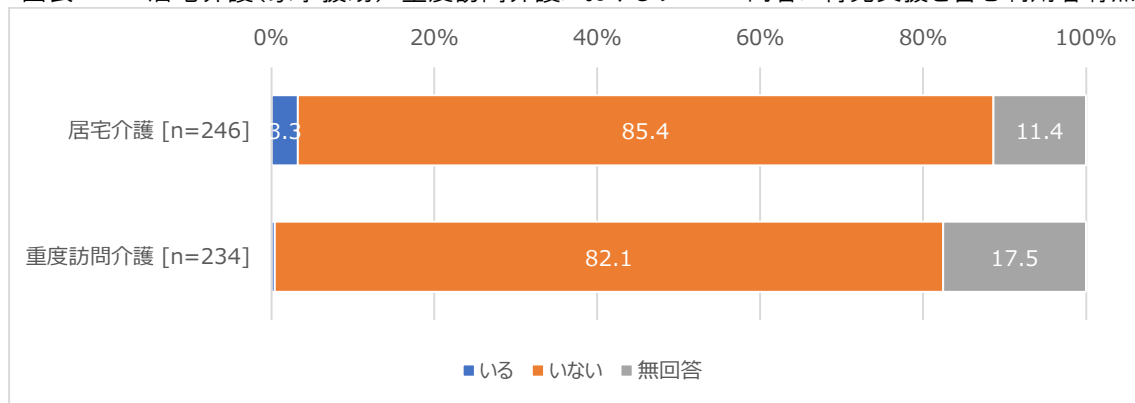
図表 186 2人介護の支給決定理由別人数

(単位：人)			居宅介護 [n=72]	重度訪問介護 [n=54]	同行援護 [n=3]	行動援護 [n=135]
障害者	区分1	1 障害者等の身体的理由により1人の従業者による介護が困難と認められる場合	0.0		0.0	
		2 暴力行為、著しい迷惑行為、器物破損行為等が認められる場合	0.0		0.0	
		3 その他障害者等の状況等から判断して、1又は2に準ずると認められる場合	0.0		0.0	
	区分2	1 障害者等の身体的理由により1人の従業者による介護が困難と認められる場合	0.0		0.0	
		2 暴力行為、著しい迷惑行為、器物破損行為等が認められる場合	0.1		0.0	
		3 その他障害者等の状況等から判断して、1又は2に準ずると認められる場合	1.4		0.0	
	区分3	1 障害者等の身体的理由により1人の従業者による介護が困難と認められる場合	0.0		0.0	0.0
		2 暴力行為、著しい迷惑行為、器物破損行為等が認められる場合	0.2		0.0	0.0
		3 その他障害者等の状況等から判断して、1又は2に準ずると認められる場合	0.0		0.0	0.0
	区分4	1 障害者等の身体的理由により1人の従業者による介護が困難と認められる場合	0.0	0.0	0.0	0.0
		2 暴力行為、著しい迷惑行為、器物破損行為等が認められる場合	0.1	0.0	0.0	0.0
		3 その他障害者等の状況等から判断して、1又は2に準ずると認められる場合	0.0	0.0	0.0	0.0
	区分5	1 障害者等の身体的理由により1人の従業者による介護が困難と認められる場合	0.0	0.0	0.7	0.1
		2 暴力行為、著しい迷惑行為、器物破損行為等が認められる場合	0.0	0.0	0.0	0.3
		3 その他障害者等の状況等から判断して、1又は2に準ずると認められる場合	0.0	0.0	0.0	0.1
	区分6	1 障害者等の身体的理由により1人の従業者による介護が困難と認められる場合	0.0	1.5	0.3	0.4
		2 暴力行為、著しい迷惑行為、器物破損行為等が認められる場合	0.0	0.1	0.0	1.0
		3 その他障害者等の状況等から判断して、1又は2に準ずると認められる場合	0.0	0.1	0.0	0.5
	区分なし	1 障害者等の身体的理由により1人の従業者による介護が困難と認められる場合	0.0		0.3	
		2 暴力行為、著しい迷惑行為、器物破損行為等が認められる場合	0.0		0.0	
		3 その他障害者等の状況等から判断して、1又は2に準ずると認められる場合	0.0		0.0	
障害児		1 障害者等の身体的理由により1人の従業者による介護が困難と認められる場合	0.0		0.0	0.1
		2 暴力行為、著しい迷惑行為、器物破損行為等が認められる場合	0.0		0.0	0.3
		3 その他障害者等の状況等から判断して、1又は2に準ずると認められる場合	0.0		0.0	0.1

②育児支援の実施状況

居宅介護・重度訪問介護の事業所に、居宅介護（家事援助）・重度訪問介護における育児支援の実施状況を聞いたところ、サービス内容に育児支援を含む利用者の有無について、「いない」が居宅介護では85.4%、重度訪問介護では82.1%となっている。

図表 187 居宅介護(家事援助)・重度訪問介護におけるサービス内容に育児支援を含む利用者有無

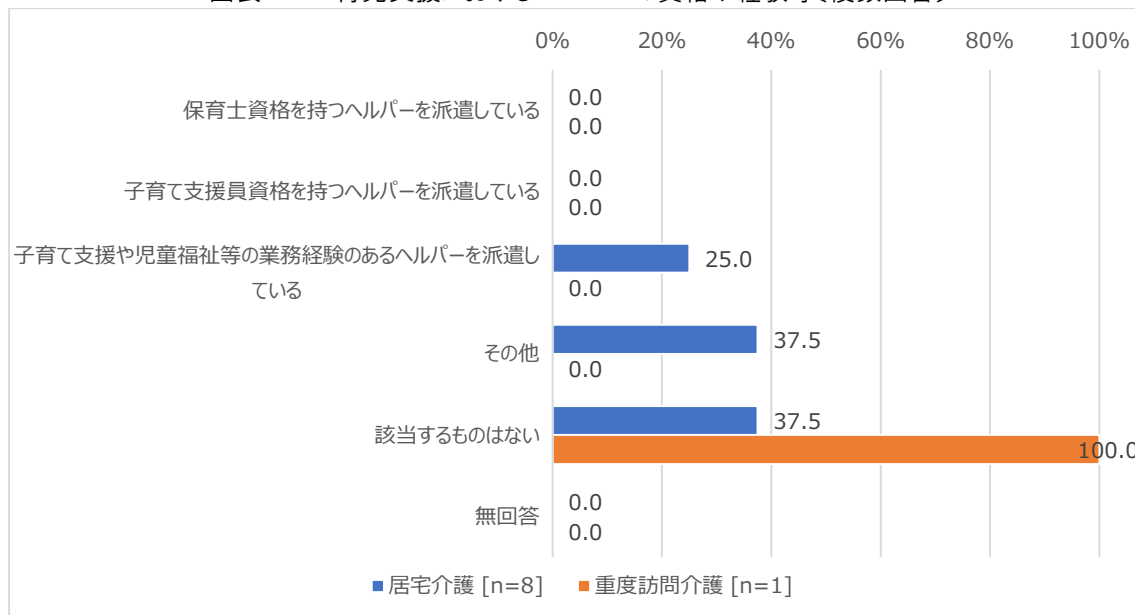


図表 188 サービス内容に育児支援を含む利用者の人数

(単位：人)	居宅介護 [n=8]	重度訪問介護 [n=1]
平均利用者数	2.5	1.0

育児支援を実施している事業所に、育児支援におけるヘルパーの資格や経験等を聞いたところ、「子育て支援や児童福祉等の業務経験のあるヘルパーを派遣している」について2事業所（25.0%）の回答があった。

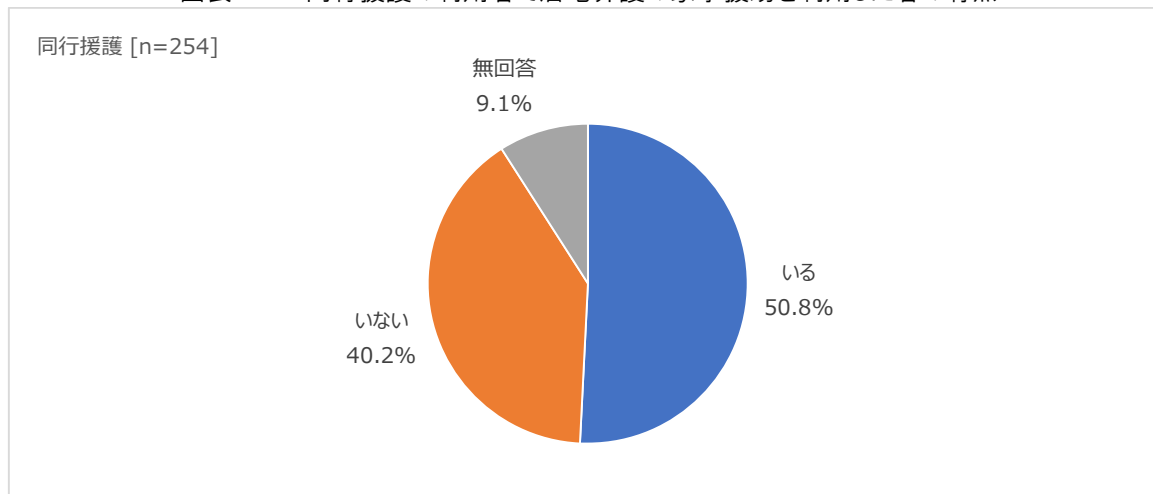
図表 189 育児支援におけるヘルパーの資格や経験等〔複数回答〕



③同行援護の利用者の居宅介護の家事援助の利用状況

同行援護の事業所に、利用者で居宅介護の家事援助（他の事業所による支援も含む）の利用状況を聞いたところ、居宅介護の家事援助を利用した者の有無は、「いる」が 50.8%、「いない」が 40.2%となっている。「いる」と回答した事業所に、該当者の人数を聞いたところ、平均で 2.4 人となっている。

図表 190 同行援護の利用者で居宅介護の家事援助を利用した者の有無



支援内容別人数は、平均で居宅内の代筆・代読が 1.3 人、外出前の居宅内での準備、外出後の居宅内での支援が 0.7 人、上記以外の家事援助が 1.9 人となっている。

図表 191 同行援護の利用者で居宅介護の家事援助の利用における支援内容別人数

(単位：人)	同行援護 [n=126]
居宅内の代筆・代読	1.3
外出前の居宅内での準備、外出後の居宅内での支援	0.7
上記以外の家事援助	1.9

(4) サービス提供の移動時間等

①ヘルパー 1 人あたりの 1 日の移動に要した平均時間、平均移動回数

各サービスにおいて、サービス提供の移動時間に関し、ヘルパー 1 人あたりの 1 日の移動に要した平均時間、平均移動回数を聞いたところ、ヘルパー 1 人あたりの 1 日の移動時間は、1 事業所あたりの平均で 56.2 分となっている。また、ヘルパー 1 人あたりの 1 日の移動回数は、平均で 2.6 回となっている。

図表 192 ヘルパー 1 人あたりの 1 日の移動に要した平均時間、平均移動回数

(単位：分、回)	全体 [n=769]	居宅介護 [n=188]	重度訪問介護 [n=169]	同行援護 [n=195]	行動援護 [n=217]
ヘルパー 1 人あたりの 1 日の移動時間	56.2	56.7	53.3	54.6	59.4
ヘルパー 1 人あたりの 1 日の移動回数	2.6	3.3	2.6	2.1	2.4

※「ヘルパー 1 人あたりの 1 日の移動時間」とは、ヘルパー 1 人が 1 日の移動（移動の定義は下記参照）に要した時間の合計。ただし、サービス提供中の移動に要する時間（利用者の移動の介助、買い物などの家事援助中の移動等）は含めない。

※「ヘルパー 1 人あたりの 1 日の移動回数」とは、ヘルパーの 1 日の業務における、事業所またはヘルパーの自宅（直行の場合）→利用者宅、利用者宅→利用者宅、利用者宅→事業所またはヘルパーの自宅（直帰の場合）の移動をすべてカウントした回数。

事業所の立地による状況を見るために、特別地域加算の算定対象地域の別でヘルパー 1 人あたりの 1 日の移動に要した平均時間、平均移動回数を見ると、ヘルパー 1 人あたりの 1 日の移動時間は、算定対象地域の事業所の方が少なくなっており、平均移動回数については、差はあまり見られない。

図表 193 ヘルパー 1 人あたりの 1 日の移動に要した平均時間、平均移動回数（特別地域加算算定別）

	全体			居宅介護		
	全体 [n=769]	算定対象地域で ある [n=98]	算定対象地域で はない [n=646]	全体 [n=188]	算定対象地域で ある [n=29]	算定対象地域で はない [n=156]
時間（分）	56.2	49.8	56.8	56.7	54.9	56.5
回数	2.6	2.8	2.6	3.3	3.5	3.3
	重度訪問介護			同行援護		
	全体 [n=169]	算定対象地域で ある [n=20]	算定対象地域で はない [n=144]	全体 [n=195]	算定対象地域で ある [n=31]	算定対象地域で はない [n=158]
時間（分）	53.3	51.8	53.4	54.6	40.5	57.6
回数	2.6	3.3	2.5	2.1	2.0	2.2
	行動援護					
	全体 [n=217]	算定対象地域で ある [n=18]	算定対象地域で はない [n=188]			
時間（分）	59.4	55.3	58.9			
回数	2.4	2.7	2.4			

②事業所から利用者宅までの移動時間（片道）別の利用者数

事業所から利用者宅までの移動時間（片道）別に、利用者の人数を聞いたところ、1事業所あたりの平均で「10分未満」が1.4人、「10分以上20分未満」が2.3人、「20分以上30分未満」が2.1人、「30分以上」が1.5人となっている。

図表 194 事業所から利用者宅までの移動時間(片道)別の利用者数

(単位：人)	全体 [n=853]	居宅介護 [n=212]	重度訪問介護 [n=187]	同行援護 [n=213]	行動援護 [n=241]
10分未満	1.4	2.8	0.6	1.0	1.0
10分以上20分未満	2.3	3.6	1.1	1.9	2.5
20分以上30分未満	2.1	3.0	1.0	1.4	2.8
30分以上	1.5	1.2	1.4	1.1	2.4

特別地域加算の算定対象地域の別で見ると、算定対象地域の事業所の方が遠方の利用者の少ない傾向が見られる。

図表 195 事業所から利用者宅までの移動時間(片道)別の利用者数(特別地域加算算定別)

(単位：人)	全体			居宅介護		
	全体 [n=853]	算定対象地域で ある [n=112]	算定対象地域で はない [n=709]	全体 [n=212]	算定対象地域で ある [n=35]	算定対象地域で はない [n=174]
10分未満	1.4	1.7	1.3	2.8	3.6	2.7
10分以上20分未満	2.3	1.8	2.5	3.6	2.5	3.9
20分以上30分未満	2.1	1.0	2.3	3.0	1.6	3.3
30分以上	1.5	0.9	1.7	1.2	0.5	1.4
	重度訪問介護			同行援護		
	全体 [n=187]	算定対象地域で ある [n=24]	算定対象地域で はない [n=157]	全体 [n=213]	算定対象地域で ある [n=34]	算定対象地域で はない [n=171]
10分未満	0.6	1.1	0.5	1.0	1.0	1.0
10分以上20分未満	1.1	1.1	1.1	1.9	1.9	1.9
20分以上30分未満	1.0	0.6	1.0	1.4	0.6	1.7
30分以上	1.4	0.4	1.5	1.1	0.9	1.1
	行動援護					
	全体 [n=241]	算定対象地域で ある [n=19]	算定対象地域で はない [n=207]			
10分未満	1.0	0.3	1.1			
10分以上20分未満	2.5	1.1	2.7			
20分以上30分未満	2.8	0.8	3.0			
30分以上	2.4	2.2	2.5			

③事業所の所在市町村と利用者宅の所在市町村の位置関係別利用者数

事業所の所在市町村と利用者宅の所在市町村の位置関係別に、利用者の人数を聞いたところ、1事業所あたりの平均で、「事業所の所在市町と同じ市町村に住んでいる利用者」が5.5人、「事業所の所在市町の近隣（隣接）市町村に住んでいる利用者」が1.3人、「事業所の所在市町及び近隣（隣接）市町村以外に住んでいる利用者」が0.4人となっている。

図表 196 事業所の所在市町村と利用者宅の所在市町村の位置関係別利用者数

(単位：人)	全体 [n=853]	居宅介護 [n=212]	重度訪問 介護 [n=187]	同行援護 [n=213]	行動援護 [n=241]
事業所の所在市町と同じ市町村に住んでいる利用者	5.5	9.0	2.2	4.3	6.1
事業所の所在市町の近隣（隣接）市町村に住んでいる利用者	1.3	1.5	0.7	0.7	2.2
事業所の所在市町及び近隣（隣接）市町村以外に住んでいる利用者	0.4	0.3	0.4	0.3	0.6

④同行援護におけるサービス提供の移動時間

同行援護の事業所に、サービス提供の移動時間として、利用者宅・目的地間の移動でヘルパー1人あたりの1日の移動に要した平均時間、平均移動回数を聞いたところ、ヘルパー1人あたりの1日の移動時間（利用者宅・目的地間）は、平均で62.4分となっている。また、ヘルパー1人あたりの1日の移動回数（利用者宅・目的地間）は、平均で2.5回となっている。

図表 197 同行援護におけるサービス提供の移動時間

(単位：分、回)	同行援護 [n=196]
ヘルパー1人あたりの1日の移動時間（利用者宅・目的地間）	62.4
ヘルパー1人あたりの1日の移動回数（利用者宅・目的地間）	2.5

(5) 利用者の就学・就労状況

各サービスにおける利用者の就学・就労状況について聞いたところ、いずれも「就学・就労なし」が多くっており、平均で居宅介護では4.2人、重度訪問介護では2.1人、同行援護では3.6人、行動援護では5.2人となっている。また、居宅介護で「就労継続支援A型・B型」が2.4人等も比較的多く見られる。

図表 198 利用者の就学・就労状況

(単位：人)	居宅介護 [n=170]	重度訪問 介護 [n=132]	同行援護 [n=136]	行動援護 [n=212]
保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校	0.4		0.0	1.1
大学（大学院及び短期大学を含む）、高等専門学校、専修学校、各種学校	0.0	0.1	0.0	0.0
一般就労（企業等で雇用）	0.6	0.2	0.3	0.0
一般就労（自営・請負等）	0.1	0.0	0.5	0.0
就労継続支援A型・B型	2.4	0.2	0.4	1.5
就学・就労なし	4.2	2.1	3.6	5.2
不明	0.9	0.1	0.2	0.3

図表 199 利用者の就学・就労状況(詳細)

(単位：人)			居宅介護 [n=170]	重度訪問介護 [n=132]	同行援護 [n=136]	行動援護 [n=212]
障害者	区分 1	大学（大学院及び短期大学を含む）、高等専門学校、専修学校、各種学校	0.0		0.0	
		一般就労（企業等で雇用）	0.0		0.0	
		一般就労（自営・請負等）	0.0		0.0	
		就労継続支援 A 型・B 型	0.1		0.0	
		就学・就労なし	0.1		0.1	
		不明	0.1		0.0	
	区分 2	大学（大学院及び短期大学を含む）、高等専門学校、専修学校、各種学校	0.0		0.0	
		一般就労（企業等で雇用）	0.2		0.0	
		一般就労（自営・請負等）	0.0		0.1	
		就労継続支援 A 型・B 型	0.8		0.1	
		就学・就労なし	0.8		0.3	
		不明	0.3		0.0	
	区分 3	大学（大学院及び短期大学を含む）、高等専門学校、専修学校、各種学校	0.0		0.0	0.0
		一般就労（企業等で雇用）	0.1		0.1	0.0
		一般就労（自営・請負等）	0.0		0.1	0.0
		就労継続支援 A 型・B 型	0.6		0.0	0.1
		就学・就労なし	0.9		0.8	0.0
		不明	0.3		0.0	0.0
	区分 4	大学（大学院及び短期大学を含む）、高等専門学校、専修学校、各種学校	0.0	0.0	0.0	0.0
		一般就労（企業等で雇用）	0.1	0.0	0.0	0.0
		一般就労（自営・請負等）	0.0	0.0	0.1	0.0
		就労継続支援 A 型・B 型	0.4	0.0	0.1	0.3
		就学・就労なし	0.6	0.1	0.8	0.4
		不明	0.2	0.0	0.0	0.0
	区分 5	大学（大学院及び短期大学を含む）、高等専門学校、専修学校、各種学校	0.0	0.0	0.0	0.0
		一般就労（企業等で雇用）	0.0	0.0	0.0	0.0
		一般就労（自営・請負等）	0.0	0.0	0.0	0.0
		就労継続支援 A 型・B 型	0.2	0.0	0.0	0.6
		就学・就労なし	0.5	0.2	0.2	1.5
		不明	0.0	0.0	0.0	0.1
	区分 6	大学（大学院及び短期大学を含む）、高等専門学校、専修学校、各種学校	0.0	0.0	0.0	0.0
		一般就労（企業等で雇用）	0.0	0.2	0.0	0.0
		一般就労（自営・請負等）	0.0	0.0	0.0	0.0
		就労継続支援 A 型・B 型	0.2	0.1	0.0	0.5
		就学・就労なし	1.2	1.8	0.1	3.1
		不明	0.1	0.1	0.0	0.2
	区分なし	大学（大学院及び短期大学を含む）、高等専門学校、専修学校、各種学校	0.0		0.0	
		一般就労（企業等で雇用）	0.0		0.1	
		一般就労（自営・請負等）	0.0		0.1	
		就労継続支援 A 型・B 型	0.0		0.2	
		就学・就労なし	0.1		1.4	
		不明	0.0		0.1	
障害児		保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校	0.4		0.0	1.1
		大学（大学院及び短期大学を含む）、高等専門学校、専修学校、各種学校	0.0		0.0	0.0
		一般就労（企業等で雇用）	0.0		0.0	0.0
		一般就労（自営・請負等）	0.0		0.0	0.0
		就労継続支援 A 型・B 型	0.0		0.0	0.1
		就学・就労なし	0.0		0.0	0.2
		不明	0.0		0.0	0.0